

Pioneer

マルチチャンネルAVマスターユニット

AVM-P9

取扱説明書

carrozeria

目次 6ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

【使用方法】

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

【異常時の処置】

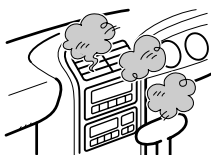
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

安全走行のために

本機はパーキングブレーキのオン/オフを検知しており、走行中にテレビやビデオの映像を見ることができないようになっています。(走行中は次のようなメッセージが表示されます。)

例：テレビを見ようとしたとき



このようなメッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると解除されます。

リアモニターについて

リア映像出力に、後部座席専用のモニターを接続すれば、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リア映像出力は、パーキングブレーキのオン/オフに関係なく映像が出力されます。リア映像出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

ドルビーデジタル*/DTS**対応

当社のマルチDVDプレーヤー（例：XDV-P9）と組み合わせたととき

当社のマルチDVDプレーヤーと組み合わせると、5.1チャンネルで収録された映画/音楽のDVDを臨場感豊かに再現することができます。



- * ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権 1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- ** Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。「DTS」および「DTS Digital Surround」はDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

DVDプレーヤーの出力設定

当社のマルチDVDプレーヤー（例：XDV-P9）を接続しているときは、マルチDVDプレーヤーの「デジタル出力の設定」、「音声出力の設定」を以下のように設定してください。

デジタル出力の設定：「DOLBY DIGITAL/LPCM」

音声出力の設定：「48 kHz」

詳しい操作方法は、マルチDVDプレーヤーの取扱説明書をお読みください。

- ・「デジタル出力の設定」を誤って設定するとノイズが発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。正しく設定してください。
- ・「音声出力の設定」を誤って設定すると音声が出られなくなります。正しく設定してください。

目次

- CONTENTS -

安全のために必ずお守りください
絵表示について
安全上のご注意
安全走行のために
リアモニターについて
バッテリー上がりを防ぐために
ドルビーデジタル/DTS対応
DVDプレーヤーの出力設定

ご使用になる前に	8	機能メニューを操作する	30
この説明書の見かた	8	受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる	
リモコン各部のなまえ	10	2カ国語放送の音声を切り換える	
リモコンに電池を入れる	11	PROGRAMボタンの機能を設定する	
リモコン取り扱い上のご注意		よく見るチャンネルを記憶させる	31
50枚型マルチCDプレーヤーをご使用になる場合のご注意		記憶させたチャンネルを呼び出す	31
聞きたいソース (音源) を選ぶ	12	マルチDVDを操作する	32
電源を入れる/ソースを切り換える		基本操作	32
フロントモニターの映像を切り換える		「機能メニュー画面」で操作する (DVD/ビデオCD)	33
音量を調節する		機能メニュー画面を表示する	
電源を切る		もとの画面に戻る	
バーチャル ワールドへの招待	14	機能メニューを操作する	34
メニュー構成	15	繰り返し再生する	
情報プレート	16	再生を一時停止する	
情報プレートの切り換え		PROGRAMボタンの機能を設定する	
見たいソース (映像) を選ぶ	18	「機能メニュー画面」で操作する (CD)	36
ナビゲーションの映像に切り換える	18	機能メニュー画面を表示する	
ビデオに切り換える	18	もとの画面に戻る	
ビデオの設定を切り換える		機能メニューを操作する	37
ビデオに切り換える		繰り返し再生する	
テレビやビデオの映像に切り換える	19	ランダム再生する	
リアモニターで映像を見る	20	スキャン再生する	
画質を調節する	21	ITS再生をする	
ラジオを操作する	22	再生を一時停止する	
基本操作	22	PROGRAMボタンの機能を設定する	
「機能メニュー画面」で操作する	23	表示を切り換える	40
機能メニュー画面を表示する		タイトルリストから選ぶ	
もとの画面に戻る		CD/ビデオCDにタイトルを入力する	41
機能メニューを操作する	24	マルチCDを操作する	42
受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる		基本操作	42
PROGRAMボタンについて		「機能メニュー画面」で操作する	43
よく聞く放送局を記憶させる	25	機能メニュー画面を表示する	
記憶させた放送局を呼び出す	25	もとの画面に戻る	
直接呼び出すとき		機能メニューを操作する	44
順番に呼び出すとき		繰り返し再生する	
表示を切り換える	26	ランダム再生する	
プリセットリスト表示から呼び出すとき		スキャン再生する	
放送局名の表示を変更する	27	ITS再生をする	
テレビを操作する	28	再生を一時停止する	
基本操作	28	CDの音質を調節する	
「機能メニュー画面」で操作する	29	PROGRAMボタンの機能を設定する	
機能メニュー画面を表示する		表示を切り換える	48
もとの画面に戻る		「CD TEXT」のタイトルをスクロール表示させる	
		タイトルリストから選ぶ	
		タイトルを入力する	50
		聞きたい曲を記憶させる (ITS記憶)	52
		記憶させた曲を1曲ずつ消去する	53
		記憶させた曲をCDごと記憶から消去する	53

1枚型CDプレーヤーを操作する	54
基本操作	54
「機能メニュー画面」で操作する	55
機能メニュー画面を表示する	
もとの画面に戻る	
機能メニューを操作する	56
繰り返し再生する	
ランダム再生する	
スキャン再生する	
再生を一時停止する	
CDの音質を調節する	
PROGRAMボタンの機能を設定する	
表示を切り換える	59
タイトルを入力する	59
マルチMDを操作する	60
基本操作	60
「機能メニュー画面」で操作する	61
機能メニュー画面を表示する	
もとの画面に戻る	
機能メニューを操作する	62
繰り返し再生する	
ランダム再生する	
スキャン再生する	
トリック再生について	
PROGRAMボタンの機能を設定する	
表示を切り換える	64
タイトルリストから選ぶ	
タイトルをスクロール表示させる	
1枚型MDプレーヤーを操作する	66
基本操作	66
「機能メニュー画面」で操作する	67
機能メニュー画面を表示する	
もとの画面に戻る	
機能メニューを操作する	68
繰り返し再生する	
ランダム再生する	
スキャン再生する	
再生を一時停止する	
PROGRAMボタンの機能を設定する	
表示を切り換える	71
タイトルをスクロール表示させる	
音を調節する	72
「オーディオメニュー画面」を表示する	72
もとの画面に戻る	
適切な車室内音場の設定について	73
車種に合わせてキャビンイコライザーを選ぶ	73
オーディオ設定画面内の操作について	
リスニングポジションを選ぶ	74
前後左右の音量バランスを調節する	75
接続したスピーカーの設定をする	76
スピーカー設定画面内の操作について	
イコライザーカーブ (EQ) を選ぶ	78
ソース間の音量差をそろえる	79

SFCで音場を再現する	80
ダイナミックレンジコントロールを使う	81
オリジナルの音質を聞く	82
小音量で聞くときの音を補正する	83

きめ細かく音を調節する	84
音の設定をする前に	84
接続したスピーカーの調節をする	84
スピーカー設定画面を表示する	
テストトーンでスピーカーの出力レベルを調節する	
クロスオーバー周波数を設定する	
サブウーファースの位相を切り換える	
キャビンイコライザーを調節する	87
エキスパート設定画面を表示する	
エキスパート設定画面内の操作について	
3バンドパラメトリックイコライザーを調節する	
スピーカーレベルを調節する	
タイムアライメントを調節する	
調節したキャビンイコライザーを記憶させる	
調節したキャビンイコライザーをリセットする	
イコライザーカーブを調節する	92

初期設定を変える	94
初期設定画面を表示する	94
初期設定画面を終了する	
音の歪みを補正する	
時計を合わせる	
画面表示位置を調整する	
情報プレートのパターンを切り換える	

その他の機能	98
瞬時に音量を小さくする	98
交通情報を受信する	98
センタールームの映像を切り換える/ 時計を表示する	99
スペクトラムアナライザーの色を変える	99
外部機器の音声聞く/映像を見る	100
セットアップメニュー画面を表示する	
外部機器の音声聞く	
ビデオ入力の映像を見る	
スピーカー入力の音声聞く	
外部機器 (AUX) に名前をつける	103

付録	104
ミュート機能について	104
オーディオミュートについて	
ナビゲーションミュートについて	
本機のリセットについて	104
故障かな?と思ったら	105
保証書とアフターサービス	108
用語の解説	109
おもな仕様	110
索引	112

ご使用になる前に

この説明書の見かた

章の見出しです。

この説明書は、以下の章に分かれています。

- ・ご使用になる前に……………本機を使用する前に準備することなどを説明しています。
- ・聞きたいソース（音源）を選ぶ……………電源を入れてから、聞きたいソース（音源）を選ぶまでの、本機での基本的な操作を説明しています。
- ・バーチャルワールドへの招待……………「バーチャルワールド」について説明しています。
- ・見たいソース（映像）を選ぶ……………映像を見るための、基本的な操作を説明しています。
- ・各ソースの操作……………ソース別に可能な操作を説明しています。詳しくは、右ページをご覧ください。
- ・音を調節する……………基本的な音の調節方法を説明しています。
- ・きめ細かく音を調節する……………より細かく音を調節する方法を説明しています。
- ・初期設定を変える……………本機の設定を変更する方法を説明しています。
- ・その他の機能……………その他の機能について説明しています。
- ・付録……………用語の解説や索引などがあります。

操作方法が書いてあります。

章の見出しです。



注意することや補足の説明が書いてあります。

画面表示です。

「各ソースの操作」の章では、ソースごとに操作方法を説明しています。ラジオは本機に内蔵されたソースです。それ以外のソースは、接続した機器の説明書も合わせてお読みください。

ソースごとの見出しです。この説明書では、以下の章に分けて説明しています。

- ・ラジオを操作する
- ・テレビを操作する
- ・マルチDVDを操作する
- ・マルチCDを操作する
- ・1枚型CDプレーヤーを操作する
- ・マルチMDを操作する
- ・1枚型MDプレーヤーを操作する

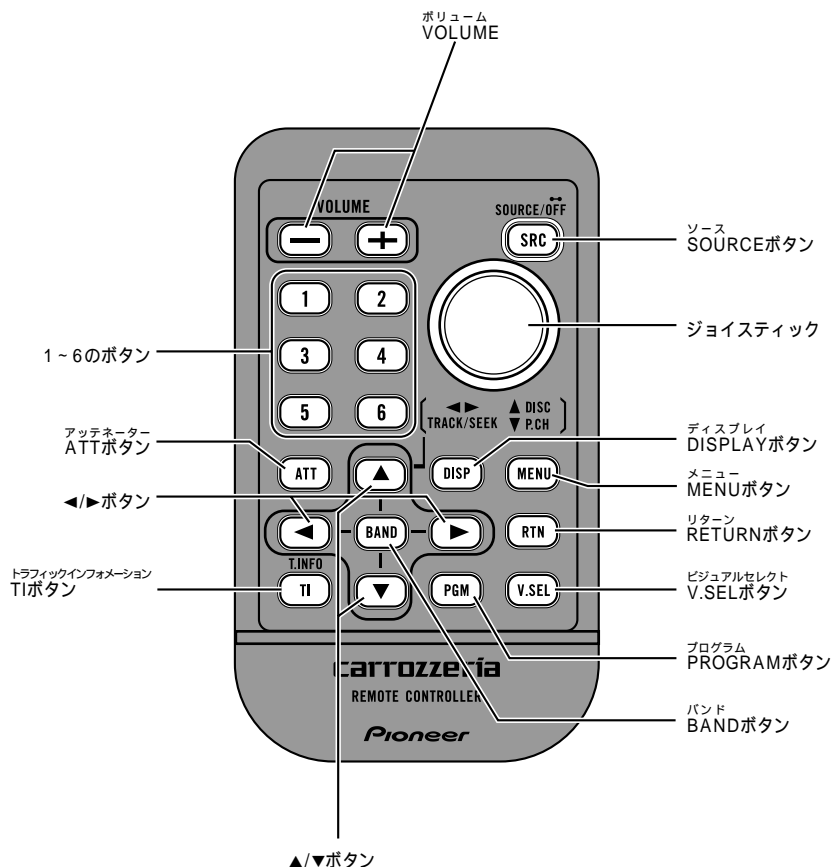
章の見出しです。



各ソースの説明は、以下の項目に分かれています。

- ・基本操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 基本的な操作を説明しています。
- ・「機能メニュー画面」を表示する・・・・ 「機能メニュー画面」を表示する方法を説明しています。
- ・機能メニューで操作する・・・・・・・・・・ 機能メニュー画面で行える、色々な機能とその操作方法を説明しています。
- ・その他の機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・ その他の機能について説明しています。

リモコン各部のなまえ



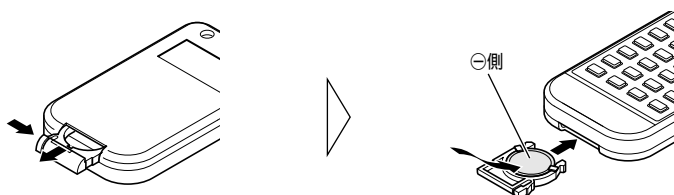
PROGRAMボタンについて

- よく使う機能をソースごとに、PROGRAMボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、ラジオでBSM、マルチCDでポーズが学習されています。)

リモコンに電池を入れる

電池ホルダーを取り出し、リチウム電池 (CR2025) を図のようにしてセットします。はじめてお使いになるときは、電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。

- ・ リモコンの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。



リモコン取り扱い上のご注意

- ・ リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・ 本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- ・ 付属の電池は充電できません。
- ・ リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・ 電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- ・ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。

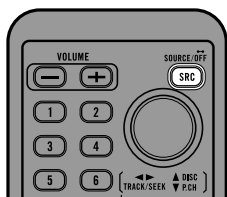
50枚型マルチCDプレーヤーをご使用になる場合のご注意

- ・ 本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

聞きたいソース(音源)を選ぶ

電源を入れる/ソースを切り換える

1



SOURCEボタンを
押す

電源が入ります。
また押すごとに、ソ
ースが切り換わります。



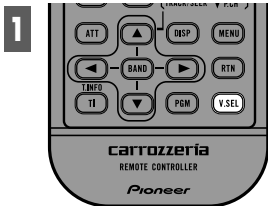
マルチDVD → テレピ → ビデオ → ラジオ (FM/AM) → 1枚型MD → マルチMD
→ 1枚型CD → マルチCD → External 1*1 (エクスターナルユニット1) →
External 2*1 (エクスターナルユニット2) → AUX (外部機器) → スピーカー入力

- ・ 接続していないソースには切り換わりません。
 - ・ CDやMDがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
 - ・ ビデオの設定をOnにしないと、ビデオには切り換わりません。(「ビデオの設定を切り換える」18ページ)
 - ・ AUX (外部機器) の設定をOnにしないと、AUXには切り換わりません。(「外部機器の音声を聞く」101ページ)
 - ・ スピーカー入力の設定をOnにしないと、スピーカー入力には切り換わりません。(「スピーカー入力の音声を聞く」102ページ)
 - ・ 本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- *1 External (エクスターナルユニット) とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品 (将来発売される製品など) の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のExternal (エクスターナルユニット) をコントロールすることができますが、External1、External2のどちらに切り換えても「External」が表示されます。2台のExternal (エクスターナルユニット) を接続した場合、本機によって、External1、External2が自動的に設定されます。

フロントモニターの映像を切り換える

音声は現在聞いているソースのまま、映像だけを好みのソース (テレビやナビゲーション、ビデオ) に切り換えることができます。

ナビゲーションおよびビデオの電源を入れてから操作してください。(ナビゲーションおよびビデオの説明書)



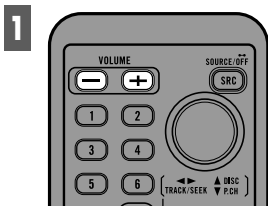
V.SELボタンを押す
 押すごとに、映像ソース
 が切り換わります。



現在聞いているソースの映像 → ナビゲーションの映像 (NAVI)
 → TVチューナーの映像 (BGTV) → ビデオの映像 (BGVTR)

- ・ テレビやDVDを普通にご覧になるには、「現在聞いているソースの映像」を選んでください。
- ・ パイオニア製ナビゲーションシステムの電源が入っていないと、ナビゲーションの映像 (NAVI) には切り換わりません。
- ・ ビデオの設定をOnにしないと、ビデオの映像 (BGVTR) には切り換わりません。(18ページ)

音量を調節する

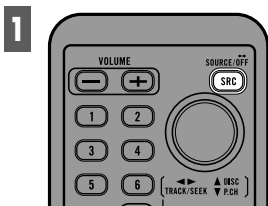


VOLUMEの
 +または-を押す
 0~40の範囲で調節
 することができます。



- ・ 約4秒間、音量が表示されます。

電源を切る



SOURCEボタンを1秒以上押す
 本機の電源が切れます。

マルチDVDプレーヤー接続時のご注意

- ・ マルチDVDプレーヤーは単独で電源を入れる/切ることができます。マルチDVDプレーヤーの電源を単独で入れた場合、本機の電源を切っても、マルチDVDプレーヤーの電源は切れません。必ずマルチDVDプレーヤーの電源も忘れずに切るようにしてください。
- ・ 本機のソースを「DVD」にしてから、マルチDVDプレーヤーの電源を切ると、マルチDVDプレーヤーの電源が切れたことを確認することができます。

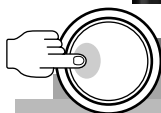
バーチャルワールドへの招待



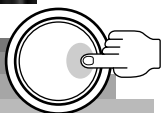
ジョイスティックを上には操作すると、立体空間を移動してスペクトラムアナライザールームへ移動します。スペクトラムアナライザは、再生中の音の周波数成分をバー表示します。



電源を入れたときに表示されるのが、センタールームです。中央のスクリーン画面は、切り換えることができます(99ページ)。



ジョイスティックを左に操作すると、「機能メニュー画面」への入り口に移動します。ジョイスティックを押すと、「機能メニュー画面」に切り換わります。「機能メニュー画面」の使いかたは、後で詳しく説明しています。

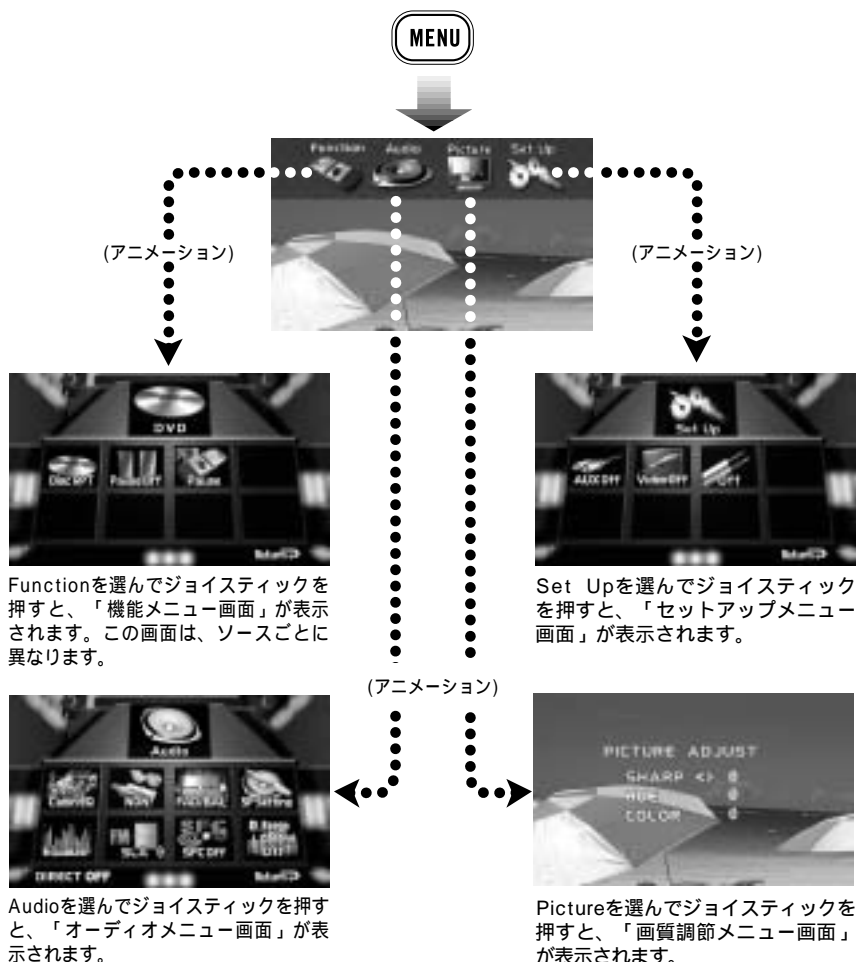


ジョイスティックを右に操作すると、パワーバンドルームへ移動します。この画面は、音の強さの変化を視覚的に表示します。ジョイスティックを押すと、パワーバンドの表示を以下のように切り換えることができます。

モノラルパワー表示 ↔ マルチパワー表示
(低音～高音を4分割で表示)

メニュー構成

本機では、さまざまな機能をメニュー上で設定したり、調節することができます。MENUボタンを押すと、Function、Audio、Picture、Set Upの4種類のメインメニューアイコンが表示されます。選択している項目が、緑色で表示されます。ここからさらにそれぞれのメニュー画面へと移動していきます。



・「Picture」は映像ソースを選んでいるときだけ表示されます。

センタールームに戻るときはそれぞれのメニュー画面からセンタールームに戻るときは、2通りの操作で戻ることができます。ジョイスティックを操作して、メニュー画面の「Return」を選んでからジョイスティックを押す方法とリモコンのRETURNボタンを押す方法があります。どちらの場合でも、センタールームに戻ることができます。

情報プレート

DISPLAYボタンを押すことにより、タイトルなどの情報をリスト表示したり、ソースプレートの表示内容を入れ換えたりすることができます。

情報プレートの切り換え

マルチCDを例に説明しています。

マルチCDの場合

DISPLAYボタンを押すと、次のように情報プレートの表示が切り換わります。情報プレートにはタイトルが一覧で表示され、ディスク名の入力などを行うことができます。また、ソースプレート上でスクロール表示されるディスク名なども切り換えることができます。



ソースプレート表示



入力したタイトルが表示されます。

- 「CD TEXT」を再生している場合
ディスク名 (ディスクタイトル)、曲名 (トラックタイトル) が表示されます。



タイトルリスト表示



- 「CD TEXT」を再生している場合
DISPLAYボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。

① 曲名 (トラックタイトル)
ディスク名 (ディスクタイトル)



② 歌手名 (ディスクアーティスト)
ディスク名 (ディスクタイトル)



③ 歌手名 (トラックアーティスト)
ディスク名 (ディスクタイトル)

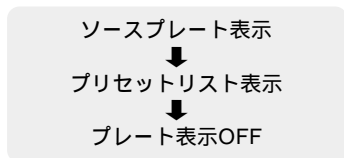


プレート表示OFF
(例：センタールーム表示)

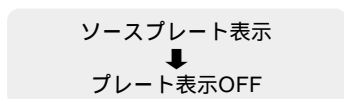


- ・ 「CD TEXT」に対応していないマルチCDでは、「CD TEXT」特有の機能を操作することはできません。

ラジオの場合

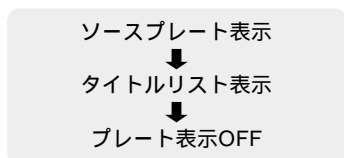


テレビの場合



・ テレビの場合は、約8秒間だけソースプレート表示されます。

マルチDVDの場合



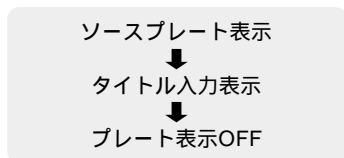
・ DVD/ビデオCD/CDでは、タイトルリストの表示が次のようになります。

DVDのとき
タイトルリストのみ表示されます。

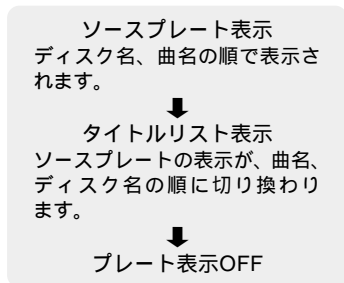
ビデオCDのとき
タイトルリストとタイトル入力「Name Edit」が表示されます。

CDのとき
タイトルリストとタイトル入力「Name Edit」、ITS記憶「ITS MEMO」「ITS Clear」が表示されます。

1枚型CDの場合



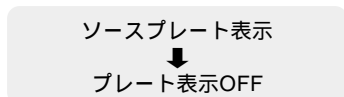
マルチMDの場合



・ DISPLAYボタンを2秒以上押すと、上段のタイトルをスクロール表示します。

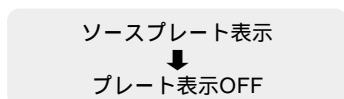
外部機器を選んだ場合

外部機器とは、ビデオやAUX、スピーカー入力、エクスターナルユニットのことです。



・ 映像ソースの場合は、約8秒間だけソースプレート表示されます。

1枚型MDの場合



・ DISPLAYボタンを押すごとに、ソースプレート表示が次のように切り換わります。

- ① ディスク名 (ディスクタイトル)
曲名 (トラックタイトル)
- ↓
- ② 曲名 (トラックタイトル)
ディスク名 (ディスクタイトル)

・ DISPLAYボタンを2秒以上押すと、上段のタイトルをスクロール表示します。

見たいソース(映像)を選ぶ

ナビゲーションの映像に切り換える

音声は現在聞いているソースのまま、ナビゲーションの映像に切り換えることができます。

ナビゲーションの電源を入れてから操作してください。(ナビゲーションの説明書)

- 1 V.SELボタンを押して、「NAVI」を選ぶ
ナビゲーションの映像に切り換わります。



- ・パイオニア製ナビゲーションシステムの電源が入っていないと、ナビゲーションの映像 (NAVI) には切り換わりません。
- ・「NAVI」を選んでから、ナビゲーションの電源を切ると、ナビゲーションの電源が切れたことを確認することができます。

ビデオに切り換える

ビデオの設定を切り換える

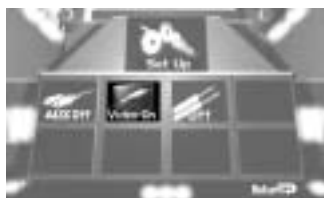
本機のビデオ入力に外部ビデオ機器を接続すると、その映像を見ることができます。ビデオを楽しむときは、セットアップメニュー画面でビデオの設定をOnにしてください。

- 1 MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。
- 2 ジョイスティックを右に操作して、「Set Up」を選ぶ
「Set Up」が緑色で表示されます。
- 3 ジョイスティックを押す
セットアップメニュー画面が表示されます。



- 4** ジョイスティックを操作して、「Video」を選ぶ

「Video」が緑色で表示されます。



- 5** ジョイスティックを押す
押すごとに、On/Offが切り換わります。

- 6** RETURNボタンを押す
もとの画面に戻ります。

ビデオに切り換える

本機のビデオ入力に接続しているビデオを見ることができます。
ビデオの電源を入れてから操作してください。（ビデオの説明書）

- 1** SOURCEボタンを押して、「Video」を選ぶ

ビデオに切り換わります。



・ビデオの設定をOnにしないと、ビデオには切り換わりません。（18ページ）

テレビやビデオの映像に切り換える

音声は現在聞いているソースのまま、テレビやビデオの映像に切り換えることができます。

ビデオの電源を入れてから操作してください。（ビデオの説明書）

- 1** V.SELボタンを押して、「BGTV」または「BGVTR」を選ぶ

テレビやビデオの映像に切り換わります。



・ビデオの設定をOnにしないと、ビデオの映像 (BGTV) には切り換わりません。（18ページ）

リアモニターで映像を見る

RCAリアモニター出力に後部座席専用のモニターを接続すると、マルチDVDやビデオの映像を後部座席でも楽しむことができます。(接続方法は、別冊の「取付説明書」をご覧ください。)

安全走行のために

リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができるところには、絶対に設置しないでください。

ビデオの電源を入れてから操作してください。(ビデオの説明書)

1 V.SELボタンを2秒以上押して、見たいソース(映像)を選ぶ

2秒以上押すごとに、映像が切り換わります。

OFF → フロントの映像ソース連動 (F.SRC)
→ ビデオ (VTR)



- ・フロントの映像ソース連動にすると、聞いている音声映像が映像ソース(マルチDVD、テレビなど)の場合、それらの音声と映像をリアモニターで楽しむことができます。音声のみのソース(ラジオ、マルチCDなど)では、リアモニターで視聴することはできません。
- ・リアモニターの映像と音声を、別々に切り換えることはできません。
- ・リアモニターには、ソース表示や画質調節の表示はされません。
- ・再生中のCDやMDを取り出すと、本機の電源が切れます。このとき本機のリアモニター出力に接続しているリアモニターの映像も消えます。

画質を調節する

DVDやテレビの映像は、鮮明さ (SHARP) や色あい (HUE)、色の濃さ (COLOR) を調節することができます。

1 SOURCEボタンを押して、調節したいソース (映像) を選ぶ

2 MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。

3 ジョイスティックを右に操作して、「Picture」を選ぶ
「Picture」が緑色で表示されます。



4 ジョイスティックを押す
画質調節メニュー画面が表示されます。



5 ジョイスティックを上下に操作して、調節したい項目を選ぶ
選んでいる項目が黄色で表示されます。

6 ジョイスティックを左右に操作して、選んだ項目を調節する

調整項目	左を押す	右を押す
SHARP	柔らかくなる	はっきりする
HUE	赤みがかかる	緑がかかる
COLOR	薄くなる	濃くなる



・ SHARPIは - 7 ~ + 7の範囲で、HUEおよびCOLORは - 24 ~ + 24の範囲で調節することができます。

7 RETURNボタンを押す
もとの画面に戻ります。

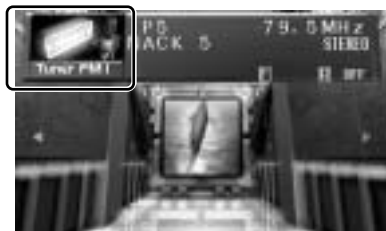
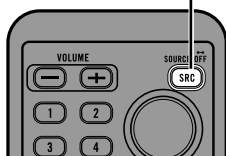
- ・ マルチDVD、テレビ、ビデオの映像で調節内容が別々に記憶されます。また、車のライトがOFFのときと、ONのときでも調節内容が別々に記憶されます。
- ・ 約30秒間、何も操作しなかった場合、画質調節メニュー画面は自動的に解除されます。

ラジオを操作する

基本操作

「Tuner」を選ぶ

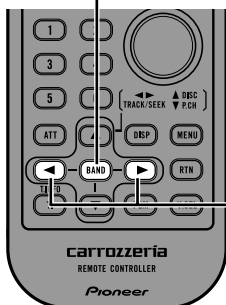
押すごとに、ソースが切り換わります。



バンドを選ぶ

押すごとに、バンドが切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2



ステレオ放送を受信すると表示されます。

放送局を選局する

手動選局 (1ステップずつ)

◀または▶ボタンを押す (0.5秒未満)

自動選局

◀または▶ボタンを0.5秒以上押す

放送局を受信すると止まります。押し続けると、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

メモ

- ・バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。(25ページ)
- ・バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのかわからない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのまま使いになれます。
- ・表示されている放送局名が実際のものと異なるときは、「放送局名の表示を変更する」(27ページ)をご覧ください。

「機能メニュー画面」で操作する

機能メニュー画面では、BSMで放送局を自動的に記憶させることができます。(ラジオでは、PROGRAMボタンの機能を変更することはできません。)

機能メニュー画面を表示する

- 1 MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。
- 2 ジョイスティックを押す
機能メニュー画面が表示されます。



BSM
「受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる」(24ページ)

プログラムボタン
「PROGRAMボタンについて」(24ページ)



- 3 ジョイスティックを操作して、機能を選ぶ
選んだ項目が緑色で表示されます。
- 4 ジョイスティックを押して、操作する
詳しくは、各機能の説明をご覧ください。

もとの画面に戻る

機能メニュー画面での操作を終了し、もとの画面に戻ります。

- 1 RETURNボタンを押す

機能メニューを操作する

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる

受信状態の良い放送局を自動的に1～6のボタンに記憶する機能です。バンドごとに6局まで記憶させることができます。

記憶させるバンドを選んでから操作してください。(「バンドを選ぶ」22ページ)

1 ジョイスティックを操作して、「BSM」を選ぶ

「BSM」が緑色で表示されます。



2 ジョイスティックを押す

押すごとにOn/Offが切り換わります。Onに切り換えると、「BSM」を表示しBSMが始まります。

記憶が終わるとOffに切り換わり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

- ・ 受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、以前に記憶した放送局が残ることがあります。
- ・ 動作を中止するには、BSM On中にジョイスティックを押します。
- ・ 記憶させた放送局を呼び出すには、「記憶させた放送局を呼び出す」(25ページ)をご覧ください。
- ・ 記憶した放送局を一覧で表示することができます(26ページ)。
- ・ バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのままお使いになれます。
- ・ BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

PROGRAMボタンについて

ラジオでは、初期設定のBSM以外に設定を変更することはできません。

PROGRAMボタンでの操作

機能	押す	2秒以上押す
BSM	Off	On

よく聞く放送局を記憶させる

よく聞く放送局を1～6のボタンに、1局ずつ手で記憶させることができます。

- 1 BANDボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ

- 2 ◀または▶ボタンを押して、記憶させたい放送局を選局する



- 3 1～6のボタンのうち、記憶させたい番号のボタンを2秒以上押す
押したボタンの番号がソースプレートに表示され、受信中の放送局が記憶されます。

記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

直接呼び出すとき

- 1 BANDボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ
- 2 1～6のボタンのうち、呼び出したい放送局の番号を押す

順番に呼び出すとき

- 1 BANDボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ
- 2 ▲または▼ボタンを押して、呼び出したい放送局を選ぶ
記憶させた放送局を順に呼び出します。

表示を切り換える

記憶させた放送局を一覧で表示することができます。

- 1 DISPLAYボタンを押す
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

ソースプレート表示



プレート表示OFF (例：センタールーム表示)



プリセットリスト表示



プリセットリスト表示から呼び出すとき

- 1 DISPLAYボタンを押して、プリセットリスト表示を選ぶ。
- 2 BANDボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ
- 3 プリセットリスト表示で、ジョイスティックを上下に操作して、放送局を選ぶ
- 4 ジョイスティックを押す
選んだ放送局を黄色で表示し、呼び出します。



放送局名の表示を変更する

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局が異なることがあります。(例：FM 80.0 MHzを使用している放送局は「TOKYO FM」「FM アオモリ」「FM フクオカ」など複数あります。)

本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名が受信している放送局名と異なる場合は、放送局名を変更して表示することができます。

(例：福岡でFM 80.0 MHzに周波数をあわせた場合、「FM フクオカ」を受信しますが、本機の初期設定のままお使いになると、表示は「TOKYO FM」となります。このようなどきは以下の手順で放送局名を変更することができます。)

- 1 DISPLAYボタンを押して、プリセットリスト表示を選ぶ



- 2 BANDボタンを押して、バンドを選ぶ

- 3 ◀または▶ボタンを押して、放送局名を変更したい放送局を選局する

- 4 ジョイスティックを右に操作して、「Name Select」を選ぶ
「Name Select」が緑色で表示されます。



- 5 ジョイスティックを押す
ジョイスティックを押すごとに放送局名が変更されます。

- 6 ジョイスティックを左に操作して、放送局名の変更を終了する
選んだ放送局名が表示されます。
手順3～6を繰り返すと、続けて変更することができます。

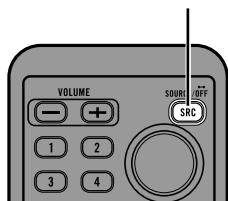
- ・ 選んだ周波数に該当する放送局名が記憶されていないと、放送局名は表示されません。
- ・ 放送局名を表示させたくないときは、空白を選んでください。
- ・ パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD (「CDX-FM653」など) をお使いの方は、モジュレーター周波数にあわせると、放送局名を「FM M-CD」に変更して表示することができます。
- ・ パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数にあわせると、放送局名を「FM TVsound」に変更して表示することができます。

テレビを操作する

基本操作

「TV」を選ぶ

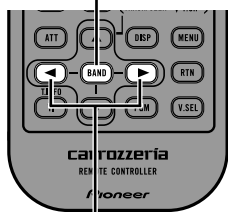
押すごとに、ソースが切り換わります。



バンドを選ぶ

押すごとに、バンドが切り換わります。

TV1 ↔ TV2



チャンネルを選局する

手動選局 (1ステップずつ)

◀または▶ボタンを押す (0.5秒未満)

自動選局

◀または▶ボタンを0.5秒以上押す

チャンネルを受信すると止まります。押し続けると、途中のチャンネルを飛ばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

メモ

- ・より多くのチャンネルを記憶できるように、1と2のバンドに分かれています。(受信できるチャンネルはどちらも1～62 CHです。)
- ・走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、テレビの各操作を行うことはできます。(音声を聞くこともできます。)

「機能メニュー画面」で操作する

機能メニュー画面では、チャンネルを自動的に記憶させたり、音声を切り換えることができます。また、PROGRAMボタンの設定を変更することもできます。

機能メニュー画面を表示する

- 1 MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。
- 2 ジョイスティックを押す
機能メニュー画面が表示されます。



音声切換
「2カ国語放送の音声を切り換える」
(30ページ)

BSSM
「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」(30ページ)

プログラムボタン
「PROGRAMボタンの機能を設定する」
(31ページ)



- 3 ジョイスティックを操作して、機能を選ぶ
選んだ項目が緑色で表示されます。
- 4 ジョイスティックを押して、操作する
詳しくは、各機能の説明をご覧ください。

もとの画面に戻る

機能メニュー画面での操作を終了し、もとの画面に戻ります。

- 1 RETURNボタンを押す

機能メニューを操作する

受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる

受信状態の良いチャンネルを、自動的にチャンネルの小さい順に記憶させる機能です。バンドごとに12局まで記憶させることができます。

記憶させるバンドを選んでから操作してください。(「バンドを選ぶ」28ページ)

1 ジョイスティックを操作して、「BSSM」を選ぶ

「BSSM」が緑色で表示されます。

2 ジョイスティックを押す

押すとOnになり、BSSMが始まります。BSSM中は画面に「BSSM」が点滅します。記憶が終わると、記憶番号1に記憶したチャンネルを受信します。

- ・受信状態の良いチャンネルが12局より少ないときは、以前に記憶したチャンネルが残ることがあります。
- ・BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。



BSSM中



BSSM後



記憶したチャンネル

受信チャンネル

2カ国語放送の音声を切り換える

2カ国語放送(音声多重放送)を受信しているときは、音声を切り換えることができます。

1 ジョイスティックを操作して、「音声切換」を選ぶ

「音声切換」が緑色で表示されます。

2 ジョイスティックを押す

押すごとに、音声が切り換わります。

Main → Sub → Main+Sub



表示	音声
Main	主音声
Sub	副音声
Main+Sub	主音声 + 副音声

- ・洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。
- ・2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語(例えば英語)で放送します。(逆の場合もあります。)

PROGRAMボタンの機能を設定する

BSSM、音声切換機能のうち、よく使うものをPROGRAMボタンに設定することで、機能メニュー画面を表示しなくても簡単に操作することができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「PGM」を選ぶ

「PGM」が緑色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを押す
押すごとに、設定が切り換わります。

BSSM → MPX

PROGRAMボタンでの操作

機能	押す	2秒以上押す
BSSM	OFF	On
MPX	音声の切り換え	

よく見るチャンネルを記憶させる

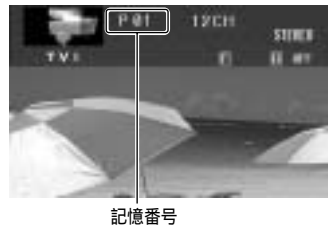
記憶番号1～6は、お好みのチャンネルを手動で記憶させることができます。例えば、BSSMでは記憶されなかったチャンネルを記憶させることで、更に使いやすくなります。

- 1 BANDボタンを押して、記憶させたいバンドを選ぶ

- 2 ◀または▶ボタンを押して、記憶させたいチャンネルを選ぶ

- 3 1～6のボタンのうち、記憶させたい番号のボタンを2秒以上押す

押したボタンの記憶番号にチャンネルが記憶されます。



・ 記憶番号7～12に手動で記憶させることはできません。

記憶させたチャンネルを呼び出す

記憶させたチャンネルは、簡単に呼び出すことができます。

- 1 BANDボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ

- 2 ▲または▼ボタンを押して、記憶させたチャンネルを呼び出す

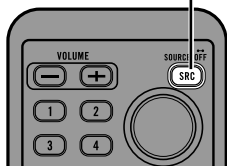
・ 記憶番号1～6に記憶されているチャンネルは、1～6のボタンで直接呼び出すこともできます。(記憶番号7～12を直接呼び出すことはできません。)

マルチDVDを操作する

基本操作

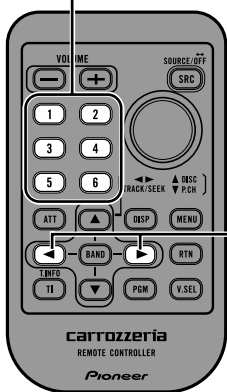
「DVD」を選ぶ

押すごとに、ソースが切り換わります。
ディスクの再生が始まります。



見たい/聞きたいディスクを選ぶ

▲または▼ボタンでも選べます。



前のチャプター (トラック) に戻る/ 次のチャプター (トラック) へ進む

再生中、◀または▶ボタンを押す (0.5秒未満)
押すごとに、前のチャプター (トラック)/次のチャプター
(トラック) へスキップします。

早送り/早戻しをする

再生中、◀または▶ボタンを0.5秒以上押し続ける
指を離すと通常再生に戻ります。

メモ

- ・ 走行中にDVDやビデオCDの映像を見ることはできませんが、マルチDVDの各操作を行うことはできます。(音声を聞くこともできます。)
- ・ マルチDVDは、DVD、ビデオCD、CDを再生することができます。ソースをマルチDVDに切り換えたときは、そのとき選ばれているディスクが再生されます。
- ・ DVDやビデオCD特有の機能は、マルチDVDのリモコンで操作してください。
- ・ ディスクや再生状態によっては、本機でマルチDVDを操作することができない場合があります。

「機能メニュー画面」で操作する (DVD/ビデオCD)

機能メニュー画面では、繰り返し再生したり、一時停止することができます。また、PROGRAMボタンの設定を変更することもできます。

マルチDVDはDVD、ビデオCDを再生しているときとCDを再生しているときに機能メニュー画面が異なります。CDを再生しているときは、「機能メニュー画面で操作する」(CD)(36ページ)をご覧ください。

機能メニュー画面を表示する

DVD、ビデオCDの機能メニューでの操作は、ディスクの再生中に行ってください。

- 1 MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。

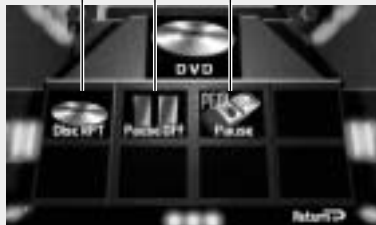
- 2 ジョイスティックを押す
DVD、ビデオCDの機能メニュー画面が表示されます。



一時停止
「再生を一時停止する」(34ページ)

リピート再生
「繰り返し再生する」
(34ページ)

プログラムボタン
「PROGRAMボタンの機能を設定する」
(35ページ)



- 3 ジョイスティックを操作して、機能を選ぶ
選んだ項目が緑色で表示されます。

- 4 ジョイスティックを押して、操作する
詳しくは、各機能の説明をご覧ください。

もとの画面に戻る

機能メニュー画面での操作を終了し、もとの画面に戻ります。

- 1 RETURNボタンを押す

機能メニューを操作する

繰り返し再生する

今再生しているチャプター（トラック）またはタイトル、ディスクの中から繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「RPT」を選ぶ

「RPT」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、繰り返し再生する範囲が切り換わります。



ソースプレートの表示



選んだ再生範囲が表示されます。

■ DVDの場合

Disc RPT → Chapter RPT → Title RPT

表示	繰り返しの範囲
Chapter RPT	再生中のチャプターを繰り返し再生します。
Title RPT	再生中のタイトルを繰り返し再生します。
Disc RPT	再生中のDVDを繰り返し再生します。

■ ビデオCDの場合

Disc RPT → Track RPT

表示	繰り返しの範囲
Track RPT	再生中のトラックを繰り返し再生します。
Disc RPT	再生中のビデオCDを繰り返し再生します。

再生を一時停止する

- 1 ジョイスティックを操作して、「Pause」を選ぶ

「Pause」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。
Onに切り換えると、再生を一時停止します。
Offにすると、再生を始めます。



PROGRAMボタンの機能を設定する

繰り返し再生または一時停止のうち、よく使うものをPROGRAMボタンに設定することで、機能メニュー画面を表示しなくても、簡単に操作することができます。

1 ジョイスティックを操作して、「PGM」を選ぶ

「PGM」が緑色で表示されます。



2 ジョイスティックを押す

押すごとに、設定が切り換わります。

Pause → RPT Mode

PROGRAMボタンでの操作

機能	押す	2秒以上押す
Pause	On/Off	
RPT Mode	再生範囲の切り換え	

「機能メニュー画面」で操作する (CD)

機能メニュー画面では、繰り返し再生やランダム再生などをすることができます。また、PROGRAMボタンの設定を変更することもできます。

マルチDVDはDVD、ビデオCDを再生しているときとCDを再生しているときで機能メニュー画面が異なります。DVD、ビデオCDを再生しているときは、「機能メニュー画面で操作する」(DVD/ビデオCD)(33ページ)をご覧ください。

機能メニュー画面を表示する

CDの機能メニューでの操作は、ディスクの再生中に行ってください。

- 1 MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。
- 2 ジョイスティックを押す
CDの機能メニュー画面が表示されます。

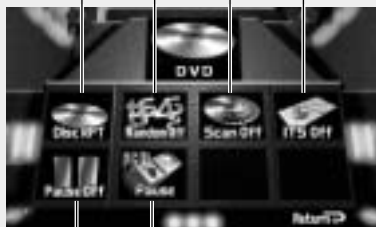


ランダム再生
「ランダム再生する」(37ページ)

リピート再生
「繰り返し再生する」
(37ページ)

スキャン再生
「スキャン再生する」(38ページ)

ITS再生
「ITS再生をする」(38ページ)



一時停止
「再生を一時停止する」(39ページ)

プログラムボタン
「PROGRAMボタンの機能を設定する」
(39ページ)

- 3 ジョイスティックを操作して、機能を選ぶ
選んだ項目が緑色で表示されます。
- 4 ジョイスティックを押して、操作する
詳しくは、各機能の説明をご覧ください。

もとの画面に戻る

機能メニュー画面での操作を終了し、もとの画面に戻ります。

- 1 RETURNボタンを押す

機能メニューを操作する

繰り返し再生する

今聞いている曲またはディスクを繰り返し聞きることができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「RPT」を選ぶ
「RPT」が緑色で表示されます。
- 2 ジョイスティックを押す
押すごとに、繰り返し再生する範囲が切り換わります。
Disc RPT → Track RPT

表示	繰り返しの範囲
Track RPT	再生中の曲を繰り返し再生します。
Disc RPT	再生中のCDを繰り返し再生します。



ソースプレートの表示



選んだ再生範囲が表示されます。

ランダム再生する

再生しているCDの曲を順不同 (ランダム) に再生します。

- 1 ジョイスティックを操作して、「Random」を選ぶ
「Random」が緑色で表示されます。
- 2 ジョイスティックを押す
押すごとに、On/Offが切り換わります。
Onに切り換えると、ランダム再生を始めます。



ソースプレートの表示



ランダム再生中に表示されます。

スキャン再生する

再生しているCDの曲の始めの部分(約10秒間)だけを次々に再生します。

- 1 ジョイスティックを操作して、「Scan」を選ぶ

「Scan」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。
Onに切り換えると、スキャン再生を始めます。

- 3 聞きたい曲が再生されたら、ジョイスティックを押す

スキャン再生が解除され、選んだ曲から再生します。



ソースプレートの表示



スキャン再生中に表示されます。

- ・スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- ・Track RPTのときに、スキャン再生をOnにすると、再生範囲がDisc RPTに切り換わりスキャン再生します。

ITS再生をする

「聞きたい曲を記憶させる (ITS記憶)」で記憶させた曲の中から、再生しているCD内の曲だけを再生します。

- 1 ジョイスティックを操作して、「ITS」を選ぶ

「ITS」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。
Onに切り換えると、ITS再生を始めます。



ソースプレートの表示



ITS再生中に表示されます。

- ・「聞きたい曲を記憶させる (ITS記憶)」の操作方法はマルチCDプレーヤーの「聞きたい曲を記憶させる (ITS記憶)」(52ページ)を参照してください。
- ・ITS記憶された曲がない場合は、「Empty」が表示され、ITS再生は行えません。
- ・マルチDVDでは、再生しているCD内でのみITS再生します。

再生を一時停止する

- 1 ジョイスティックを操作して、「Pause」を選ぶ

「Pause」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。
Onに切り換えると、再生を一時停止します。
Offにすると、再生を始めます。



PROGRAMボタンの機能を設定する

繰り返し再生またはランダム再生、ITS再生などのうち、よく使うものをPROGRAMボタンに設定することで、機能メニュー画面を表示しなくても簡単に操作することができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「PGM」を選ぶ

「PGM」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、設定が切り換わります。
Pause → RPT Mode → Random → ITS

PROGRAMボタンでの操作

機能	押す	2秒以上押す
Pause	On/Off	
RPT Mode	再生範囲の切り換え	
Random	On/Off	
ITS	On/Off	



表示を切り換える

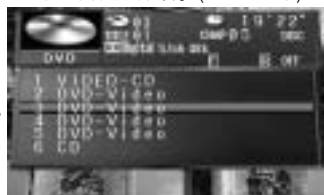
ディスク名を一覧で表示することができます。

- 1 DISPLAYボタンを押す
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

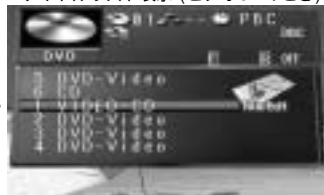
ソースプレート表示



タイトルリスト表示 (DVDのとき)



タイトルリスト表示 (ビデオCDのとき)



プレート表示OFF (例: DVDの映像)



タイトルリスト表示 (CDのとき)



タイトルリストから選ぶ

ディスクタイトルの一覧から、再生したいディスクを選ぶことができます。

- 1 DISPLAYボタンを押して、タイトルリスト表示を選ぶ



- 2 ジョイスティックを上下に操作して、再生したいディスクを選ぶ
タイトルを入力していないCDやビデオCDは、「CD」、「VIDEO-CD」が表示されます。



- 3 ジョイスティックを押す
選んだタイトルのディスクを再生します。

CD/ビデオCDにタイトルを入力する

CDやビデオCDにタイトルを入力することができます。また、CDを再生しているときは、一覧で表示させることもできます。

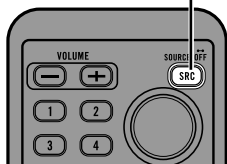
- ・ タイトルの入力方法は、マルチCDプレーヤーと同じです。「タイトルを入力する」(50ページ)をご覧ください。

マルチCDを操作する

基本操作

「Multi-CD」を選ぶ

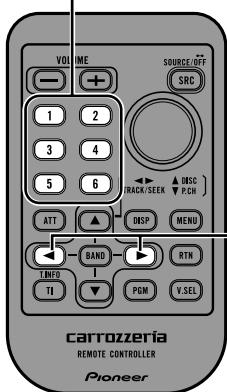
押すごとに、ソースが切り換わります。
CDの再生が始まります。



聞きたいCDを選ぶ

7～12枚目のCDを選ぶときは、2秒以上押します。

▲または▼ボタンでも選べます。



前の曲に戻る/次の曲へ進む

◀または▶ボタンを押す(0.5秒未満)
押すごとに、前の曲/次の曲へスキップします。

早送り/早戻しをする

◀または▶ボタンを0.5秒以上押し続ける
指を離すと通常再生に戻ります。

メモ

- マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると「READY」が表示されます。
- マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「NO MAGAZINE」が表示されます。
- 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P650」など) では、ディスクが再生されると、ディスク名、曲名を1回スクロール表示します。また曲を選び直したときは、曲名がスクロール表示されます。

「機能メニュー画面」で操作する

機能メニュー画面では、繰り返し再生やランダム再生などを行うことができます。また、PROGRAMボタンの設定を変更することもできます。

機能メニュー画面を表示する

- 1 MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。
- 2 ジョイスティックを押す
機能メニュー画面が表示されます。

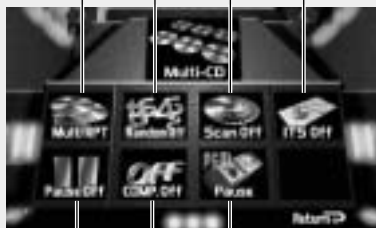


ランダム再生
「ランダム再生する」(44ページ)

リピート再生
「繰り返し再生する」
(44ページ)

スキャン再生
「スキャン再生する」(45ページ)

ITS再生
「ITS再生をする」(45ページ)



一時停止
「再生を一時停止する」(46ページ)

コンプレッション機能
「CDの音質を調節する」(46ページ)

プログラムボタン
「PROGRAMボタンの機能を設定する」
(47ページ)

- 3 ジョイスティックを操作して、機能を選ぶ
選んだ項目が緑色で表示されます。
- 4 ジョイスティックを押して、操作する
詳しくは、各機能の説明をご覧ください。

もとの画面に戻る

機能メニュー画面での操作を終了し、もとの画面に戻ります。

- 1 RETURNボタンを押す

機能メニューを操作する

繰り返し再生する

今聞いている曲またはディスクなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

1 ジョイスティックを操作して、「RPT」を選ぶ

「RPT」が緑色で表示されます。

2 ジョイスティックを押す

押すごとに、繰り返し再生する範囲が切り換わります。

Multi RPT → Track RPT → Disc RPT

表示	繰り返しの範囲
Track RPT	再生中の曲を繰り返し再生します。
Disc RPT	再生中のCDを繰り返し再生します。
Multi RPT	マガジン内のCDすべてを繰り返し再生します。



ソースプレートの表示



選んだ再生範囲が表示されます。

ランダム再生する

選んだ再生範囲内で曲を順不同 (ランダム) に再生します。

繰り返し再生する範囲を選んだから操作してください。(前の項目の「繰り返し再生する」)

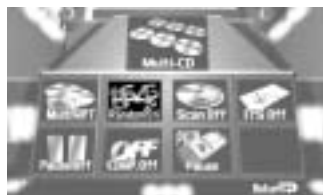
1 ジョイスティックを操作して、「Random」を選ぶ

「Random」が緑色で表示されます。

2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。

Onに切り換えると、ランダム再生を始めます。



ソースプレートの表示



ランダム再生中に表示されます。

スキャン再生する

曲の始めの部分(約10秒間)だけを次々に再生します。

繰り返し再生する範囲を選んでから操作してください。(「繰り返し再生する」44ページ)

聞きたい曲をさがすとき(トラックスキャン再生)

- ・ 繰り返し再生で「Track RPT」または「Disc RPT」を選んでいる場合、再生しているCDの全曲をスキャン再生します。

聞きたいCDをさがすとき(ディスクスキャン再生)

- ・ 繰り返し再生で「Multi RPT」を選んでいる場合、マガジン内のすべてのCDの1曲目だけをスキャン再生します。

1 ジョイスティックを操作して、「Scan」を選ぶ

「Scan」が緑色で表示されます。

2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。
Onに切り換えると、スキャン再生を始めます。

3 聞きたい曲が再生されたら、ジョイスティックを押す

スキャン再生が解除され、選んだ曲から再生します。



ソースプレートの表示



スキャン再生中に表示されます。

- ・ スキャン再生を始めた曲(またはCD)まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- ・ Track RPTのときに、スキャン再生をOnにすると、再生範囲がDisc RPTに切り換わりスキャン再生します。

ITS再生をする

「聞きたい曲を記憶させる(ITS記憶)」(52ページ参照)で記憶させた曲を再生します。
選んだ再生範囲内に記憶されている曲を再生します。

繰り返し再生する範囲を選んでから操作してください。(「繰り返し再生する」44ページ)

1 ジョイスティックを操作して、「ITS」を選ぶ

「ITS」が緑色で表示されます。

2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。
Onに切り換えると、ITS再生を始めます。



ソースプレートの表示



ITS再生中に表示されます。

- ・ Track RPTのときに、ITS再生をOnにすると、再生範囲がDisc RPTに切り換わりITS再生します。
- ・ 選んだ再生範囲内にITS記憶された曲がない場合は、「Empty」が表示されITS Onには切り換わりません。

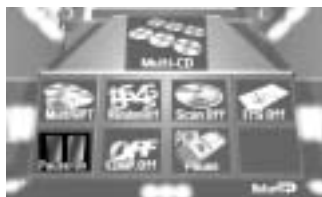
再生を一時停止する

- 1 ジョイスティックを操作して、「Pause」を選ぶ

「Pause」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。
Onに切り換えると、再生を一時停止します。
Offにすると、再生を始めます。



CDの音質を調節する

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。COMP/DBE機能のついたマルチCDのときに操作することができます。

COMPについて

- ・ COMPとは、Compression (コンプレッション) の略です。COMP1は、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

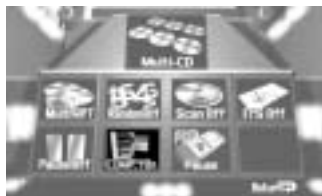
- ・ DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

- 1 ジョイスティックを操作して、「COMP」を選ぶ

「COMP」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、設定が切り換わります。



COMP. Off ➔ COMP. 1 ➔ COMP. 2
➔ COMP. Off ➔ D.B.E. 1 ➔ D.B.E. 2

- ・ COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。
- ・ COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、「No COMP」が表示されて操作することができません。

PROGRAMボタンの機能を設定する

繰り返し再生またはランダム再生、ITS再生などのうち、よく使うものをPROGRAMボタンに設定することで、機能メニュー画面を表示しなくても簡単に操作することができます。

1 ジョイスティックを操作して、「PGM」を選ぶ

「PGM」が緑色で表示されます。



2 ジョイスティックを押す

押すごとに、設定が切り換わります。

Pause → RPT Mode → Random → ITS

PROGRAMボタンでの操作

機能	押す	2秒以上押す
Pause	On/Off	
RPT Mode	再生範囲の切り換え	
Random	On/Off	
ITS	On/Off	

表示を切り換える

入力したタイトルや「CD TEXT」に収録されているタイトルなどを表示させることができます。「CD TEXT」のタイトルは一度に12文字まで表示できます。12文字を超える場合は、隠れている文字を順にスクロール表示させることもできます。

1 DISPLAYボタンを押す

ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

ソースプレート表示



入力したタイトルが表示されます。

- 「CD TEXT」を再生している場合
ディスク名 (ディスクタイトル)、曲名 (トラックタイトル) が表示されます。



タイトルリスト表示



- 「CD TEXT」を再生している場合
DISPLAYボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。

- ① 曲名 (トラックタイトル)
ディスク名 (ディスクタイトル)
- ↓
- ② 歌手名 (ディスクアーティスト)
ディスク名 (ディスクタイトル)
- ↓
- ③ 歌手名 (トラックアーティスト)
ディスク名 (ディスクタイトル)



プレート表示OFF
(例：センタールーム表示)



- ・ タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、「NO TITLE」が表示されます。
- ・ ディスクの入っていない番号には、「NO DISC」が表示されます。
- ・ 「CD TEXT」に対応していないマルチCDでは、「CD TEXT」特有の機能を操作することはできません。

「CD TEXT」のタイトルをスクロール表示させる

ディスク名や曲名、歌手名などのタイトルが12文字を超えているときは、隠れている文字をスクロール表示で見ることができます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P650」など) の機能です。

CD TEXTとは

- ・ CDのタイトルや歌手名などの文字情報が収録されているCDです。ディスクタイトル面に右記のマークの付いているCDは「CD TEXT」ディスクです。なかにはこのマークの付いていない「CD TEXT」ディスクもあります。



- 1 DISPLAYボタンを2秒以上押す
ディスク名や曲名などの表示がスクロールします。

スクロール表示します



- ・ TRACK ARTIST NAME (歌手名) などが収録されていないCDで表示を切り換えると、「NO TITLE」が表示されます。

タイトルリストから選ぶ

ディスクタイトルの一覧から、聞きたいICDを選ぶことができます。

- 1 DISPLAYボタンを押して、タイトルリスト表示を選ぶ
- 2 ジョイスティックを上下に操作して、聞きたいディスクを選ぶ
- 3 ジョイスティックを押す
選んだタイトルのディスクを再生します。



タイトルを入力する

CDにタイトルを付けたり、一覧で表示させることができます。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、画面に表示させる機能です。

- ・「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P650」など）に「CD TEXT」をセットしているときは、「CD TEXT」にタイトルを入力することはできません。
- ・タイトルは10文字まで入力できます。
- ・タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。
- ・タイトルは、ITS（「聞きたい曲を記憶させる（ITS記憶）」52ページ）と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- ・100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

- 1 DISPLAYボタンを押して、タイトルリスト表示を選ぶ



- 2 ▲または▼ボタンを押して、タイトルを入力したいCDを再生する

- 3 ジョイスティックを操作して、「Title Edit」を選ぶ

「Title Edit」が緑色で表示されます。



- 4 ジョイスティックを押す

「Title Edit」が黄色で表示され、タイトルが入力できる状態になります。



- 5 1～3のボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

押すボタン	選べる文字
1のボタン	アルファベットの小文字（a～z）、空白（_）
（1のボタンを押すごとに切り換わります。）	アルファベットの大文字（A～Z）、数字（0～9）、記号（！＼＃など）、空白（_）
2のボタン	数字（0～9）、記号（！＼＃など）、空白（_）
3のボタン	カタカナ（ア～ン）、音引き（ー）、空白（_）
（3のボタンを押すごとに切り換わります。）	拗促音、濁点、半濁点（アイウエオヤユヨッ゜）、空白（_）

- 6** ジョイスティックを上下に操作して、
入力する文字を選ぶ
カーソルが表示されている位置の文字を入力
することができます。



- 7** ジョイスティックを右に操作して、入力
する位置を選ぶ
入力を間違えたときは、ジョイスティックを左
に操作すると、前の位置に戻ることができます。



- 8** 手順5～7を繰り返して文字を入力する

- 9** カーソルが消えるまで、ジョイスティック
を右に操作する
入力したタイトルが記憶されます。



入力したタイトル

手順2～9を繰り返すと、続けて入力することができます。

- ・タイトル入力の途中でジョイスティックを押すと、タイトル入力解除され、入力中のタイトルは記憶されません。

聞きたい曲を記憶させる (ITS記憶)

聞きたい曲だけ再生する (「ITS再生をする」45ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させる機能です。

ITSについて

- ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラック セレクション) の略です。
- ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (「ITS再生をする」45ページ) 機能です。
- 曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。
- CD1枚につき24曲まで記憶できます。(25曲以上収録されているCDでは、25曲目以降に収録されている曲は記憶できません。)
- ITSは、タイトル (「タイトルを入力する」50ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

- 1 DISPLAYボタンを押して、タイトルリスト表示を選ぶ
- 2 ▲または▼ボタンを押して、記憶させたい曲の入っているCDを再生する
- 3 ◀または▶ボタンを押して、記憶させたい曲を選ぶ



- 4 ジョイスティックを操作して、「ITS MEMO」を選ぶ
「ITS MEMO」が緑色で表示されます。



- 5 ジョイスティックを押す
手順3で選んだ曲を記憶します。
手順2～5を繰り返すと、続けて記憶させることができます。

- 6 ジョイスティックを左に操作して、ITS記憶を終了する

• ITSに記憶させた曲を再生する方法は、「ITS再生をする」をご覧ください。(45ページ)

記憶させた曲を1曲ずつ消去する

記憶させた曲を1曲ずつ消去することができます。
ITS再生中に行います。(「ITS再生をする」45ページ)

- 1 DISPLAYボタンを押して、タイトルリスト表示を選ぶ
- 2 ◀または▶ボタンを押して、消去したい曲を再生する
- 3 ジョイスティックを操作して、「ITS Clear」を選ぶ
「ITS Clear」が緑色で表示されます。
- 4 ジョイスティックを押す
再生していた曲を記憶から消去し、次に記憶されている曲を再生します。
- 5 ジョイスティックを操作して、ITS消去を終了する



・現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合、ITS再生はOffになります。

記憶させた曲をCDごとに記憶から消去する

記憶させた曲をCDごとに消去することができます。
ITS再生がOffのときに行います。ITS再生がOnになっているときは、ITS再生をOffにしてください。(「ITS再生をする」45ページ)

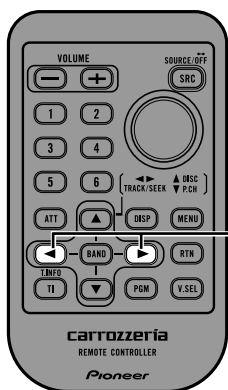
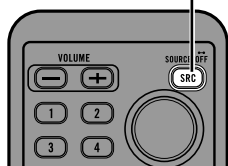
- 1 DISPLAYボタンを押して、タイトルリスト表示を選ぶ
- 2 ▲または▼ボタンを押して、消去したいCDを再生する
- 3 ジョイスティックを操作して、「ITS Clear」を選ぶ
「ITS Clear」が緑色で表示されます。
- 4 ジョイスティックを押す
再生しているCDの記憶が消去されます。
- 5 ジョイスティックを操作して、ITS消去を終了する



1枚型CDプレイヤーを操作する

基本操作

「Compact Disc」を選ぶ
 押すごとに、ソースが切り換わります。
 CDの再生が始まります。



前の曲に戻る/次の曲へ進む

◀または▶ボタンを押す (0.5秒未満)
 押すごとに、前の曲/次の曲へスキップします。

早送り/早戻しをする

◀または▶ボタンを0.5秒以上押し続ける
 指を離すと通常再生に戻ります。

「機能メニュー画面」で操作する

機能メニュー画面では、繰り返し再生やランダム再生などをすることができます。また、PROGRAMボタンの設定を変更することもできます。

機能メニュー画面を表示する

- 1 MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。
- 2 ジョイスティックを押す
機能メニュー画面が表示されます。

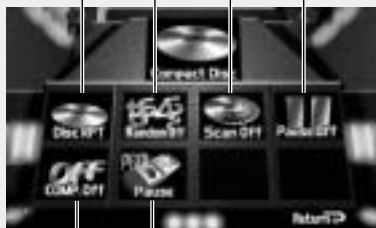


ランダム再生
「ランダム再生する」(56ページ)

リピート再生
「繰り返し再生する」
(56ページ)

スキャン再生
「スキャン再生する」(57ページ)

一時停止
「再生を一時停止する」(57ページ)



コンプレッション機能
「CDの音質を調節する」(58ページ)

プログラムボタン
「PROGRAMボタンの機能を設定する」
(58ページ)

- 3 ジョイスティックを操作して、機能を選ぶ
選んだ項目が緑色で表示されます。
- 4 ジョイスティックを押して、操作する
詳しくは、各機能の説明をご覧ください。

もとの画面に戻る

機能メニュー画面での操作を終了し、もとの画面に戻ります。

- 1 RETURNボタンを押す

機能メニューを操作する

繰り返し再生する

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「RPT」を選ぶ

「RPT」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、繰り返し再生する範囲が切り換わります。

Disc RPT → Track RPT

表示	繰り返しの範囲
Track RPT	再生中の曲を繰り返し再生します。
Disc RPT	再生中のCDを繰り返し再生します。



ソースプレート表示



選んだ再生範囲が表示されます。

ランダム再生する

曲を順不同 (ランダム) に再生します。

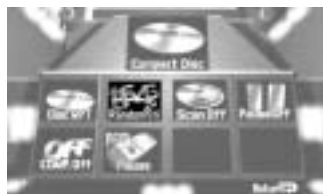
- 1 ジョイスティックを操作して、「Random」を選ぶ

「Random」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。

Onに切り換えると、ランダム再生を始めます。



ソースプレート表示



ランダム再生中に表示されます。

スキャン再生する

曲の始めの部分 (約10秒間) だけを次々に再生します。

- 1 ジョイスティックを操作して、「Scan」を選ぶ

「Scan」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。
Onに切り換えると、スキャン再生を始めます。

- 3 聞きたい曲が再生されたら、ジョイスティックを押す

スキャン再生が解除され、選んだ曲から再生します。



ソースプレート表示



スキャン再生中に表示されます。

- ・ スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- ・ Track RPTのときに、スキャン再生をOnにすると、再生範囲がDisc RPTに切り換わりスキャン再生します。

再生を一時停止する

- 1 ジョイスティックを操作して、「Pause」を選ぶ

「Pause」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。
Onに切り換えると、再生を一時停止します。
Offにすると、再生を始めます。



CDの音質を調節する

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。COMP/DBE機能のついたCDプレーヤーのときに操作することができます。

COMPについて

- COMPとは、Compression (コンプレッション) の略です。COMPは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

- DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 ジョイスティックを操作して、「COMP」を選ぶ

「COMP」が緑色で表示されます。

2 ジョイスティックを押す

押すごとに、設定が切り換わります。



COMP. Off → COMP. 1 → COMP. 2
→ COMP. Off → D.B.E. 1 → D.B.E. 2

- COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。
- COMP/DBE機能のないCDプレーヤーを組み合わせたときは、「No Comp」が表示されて操作することができません。

PROGRAMボタンの機能を設定する

繰り返し再生またはランダム再生などのうち、よく使うものをPROGRAMボタンに設定することで、機能メニュー画面を表示しなくても簡単に操作することができます。

1 ジョイスティックを操作して、「PGM」を選ぶ

「PGM」が緑色で表示されます。

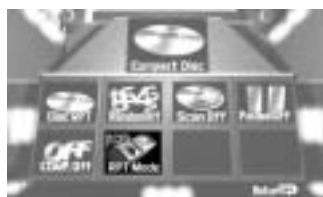
2 ジョイスティックを押す

押すごとに、設定が切り換わります。

Pause → RPT Mode → Random

PROGRAMボタンでの操作

機能	押す	2秒以上押す
Pause	On/Off	
RPT Mode	再生範囲の切り換え	
Random	On/Off	



表示を切り換える

入力したタイトルを表示させることができます。

- 1 DISPLAYボタンを押す
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。
ソースプレート表示



プレート表示OFF (例: センタールーム表示)



↓

タイトル入力表示



- ・ タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、「NO TITLE」が表示されます。

タイトルを入力する

再生中のCDにタイトルを付けて表示することができます。

- ・ CDプレーヤーによって動作が異なることがあります。詳しくは、CDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

- 1 DISPLAYボタンを押して、タイトル入力表示を選ぶ
「Title Edit」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す
「Title Edit」が黄色で表示され、タイトルが入力できる状態になります。



カーソル

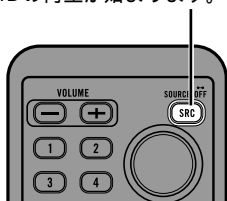
- 3 タイトルを入力し、記憶させる
マルチCDの「タイトルを入力する」(50ページ)の手順5~9に従って、操作します。

マルチMDを操作する

基本操作

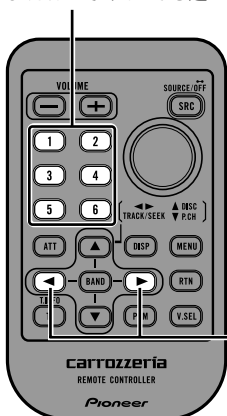
「Multi-MD」を選ぶ

押すごとに、ソースが切り換わります。
MDの再生が始まります。



聞きたいMDを選ぶ

▲または▼ボタンでも選べます。



前の曲に戻る/次の曲へ進む

◀または▶ボタンを押す (0.5秒未満)
押すごとに、前の曲/次の曲へスキップします。

早送り/早戻しをする

◀または▶ボタンを0.5秒以上押し続ける
指を離すと通常再生に戻ります。

メモ

- マルチMDに切り換えたときは、ディスク名、曲名を1回スクロール表示します。

「機能メニュー画面」で操作する

機能メニュー画面では、繰り返し再生やランダム再生などをすることができます。また、PROGRAMボタンの設定を変更することもできます。

機能メニュー画面を表示する

- 1 MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。
- 2 ジョイスティックを押す
機能メニュー画面が表示されます。



ランダム再生
「ランダム再生する」(62ページ)

リピート再生
「繰り返し再生する」
(62ページ)

スキャン再生
「スキャン再生する」(63ページ)

プログラムボタン
「PROGRAMボタンの機能を設定
する」(64ページ)



- 3 ジョイスティックを操作して、機能を選ぶ
選んだ項目が緑色で表示されます。
- 4 ジョイスティックを押して、操作する
詳しくは、各機能の説明をご覧ください。

もとの画面に戻る

機能メニュー画面での操作を終了し、もとの画面に戻ります。

- 1 RETURNボタンを押す

機能メニューを操作する

繰り返し再生する

今聞いている曲またはディスクを繰り返し聞きることができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「RPT」を選ぶ

「RPT」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、繰り返し再生する範囲が切り換わります。

Multi RPT → Track RPT → Disc RPT

表示	繰り返しの範囲
Track RPT	再生中の曲を繰り返し再生します。
Disc RPT	再生中のMDを繰り返し再生します。
Multi RPT	すべてのMDを繰り返し再生します。



ソースプレート表示



選んだ再生範囲が表示されます。

ランダム再生する

曲を順不同 (ランダム) に再生します。

- 1 ジョイスティックを操作して、「Random」を選ぶ

「Random」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、ランダム再生の種類が切り換わります。

Random 1 → Random 2 → Random Off

表示	再生方法
Random 1	MDごとにランダム再生します。再生中のMDのすべての曲をランダム再生し終わると、次のMDに切り換わりランダム再生を続けます。
Random 2	すべてのMDのすべての曲をランダム再生します。



ソースプレート表示



選んだランダム再生が表示されます。

スキャン再生する

曲の始めの部分(約10秒間)だけを次々に再生します。

聞きたい曲をさがすとき (Scan 1)

- ・すべてのMDのすべての曲を約10秒ずつ再生します。(トラックスキャン)

聞きたいMDをさがすとき (Scan 2)

- ・すべてのMDの1曲目だけを約10秒ずつ再生します。(ディスクスキャン)

1 ジョイスティックを操作して、「Scan」を選ぶ

「Scan」が緑色で表示されます。

2 ジョイスティックを押す

押すごとに、スキャン再生の種類が切り換わります。

Scan 1 → Scan 2 → Scan Off

3 聞きたい曲が再生されたら、ジョイスティックを押して、Scan Offに切り換える

スキャン再生が解除され、選んだ曲から再生します。



ソースプレート表示



選んだスキャン再生が表示されます。

トリック再生について

リピート、ランダム、スキャン再生を組み合わせて、下表のようなトリック再生をすることができます。

リピート表示	ランダム/スキャン表示	再生内容
MULTI	RDM1	ランダム1
MULTI	RDMS1	ランダム1+トラックスキャン
DISC	RDM1	ランダム1+ディスクリピート
DISC	RDMS1	ランダム1+トラックスキャン+ディスクリピート
MULTI	RDM2	ランダム2
MULTI	RDMS2	ランダム2+トラックスキャン
MULTI	SCAN1	トラックスキャン
DISC	SCAN1	トラックスキャン+ディスクリピート
MULTI	SCAN2	ディスクスキャン
TRACK	——	トラックリピート
DISC	——	ディスクリピート

PROGRAMボタンの機能を設定する

繰り返し再生またはランダム再生のうち、よく使うものをPROGRAMボタンに設定することで、機能メニュー画面を表示しなくても簡単に操作することができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「PGM」を選ぶ

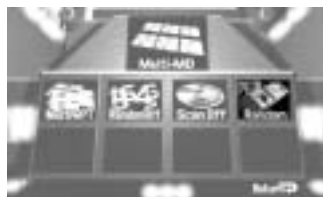
「PGM」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す
押すごとに、設定が切り換わります。

RPT Mode → Random

PROGRAMボタンでの操作

機能	押す	2秒以上押す
RPT Mode	再生範囲の切り換え	
Random	ランダム再生の切り換え	



表示を切り換える

ディスク名や曲名の表示位置を切り換えたり、ディスク名を一覧で表示します。

- 1 DISPLAYボタンを押す
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

ソースプレート表示



プレート表示OFF (例：センタールーム表示)



タイトルリスト表示



・ ディスク名や曲名が入力されていない場合は、それぞれ「NO TITLE」が表示されます。

タイトルリストから選ぶ

ディスクタイトルの一覧から、聞きたいIMDを選ぶことができます。

- 1 DISPLAYボタンを押して、タイトルリスト表示を選ぶ
- 2 ジョイスティックを上下に操作して、聞きたいディスクを選ぶ
- 3 ジョイスティックを押す
選んだタイトルの再生が始まります。



タイトルをスクロール表示させる

ディスク名や曲名のタイトルが12文字を超えているときは、隠れている文字をスクロール表示で見ることができます。

- 1 DISPLAYボタンを2秒以上押す
ディスク名または曲名の表示がスクロールします。

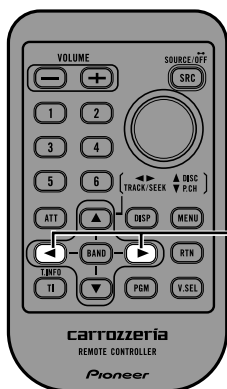
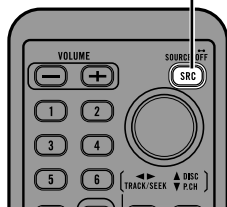


1枚型MDプレイヤーを操作する

基本操作

「Mini Disc」を選ぶ

押すごとに、ソースが切り換わります。
MDの再生が始まります。



前の曲に戻る/次の曲へ進む

◀または▶ボタンを押す (0.5秒未満)
押すごとに、前の曲/次の曲へスキップします。

早送り/早戻しをする

◀または▶ボタンを0.5秒以上押し続ける
指を離すと通常再生に戻ります。

メモ

- ・ MDに切り換えるときは、ディスク名、曲名を1回スクロール表示します。
- ・ 「TEMP」が表示されたときは、1枚型MDプレイヤーの説明書の「TEMP」または「HEAT」というエラー表示の説明をご覧ください。

「機能メニュー画面」で操作する

機能メニュー画面では、繰り返し再生やランダム再生などをすることができます。また、PROGRAMボタンの設定を変更することもできます。

機能メニュー画面を表示する

- 1 MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。
- 2 ジョイスティックを押す
機能メニュー画面が表示されます。



ランダム再生
「ランダム再生する」(68ページ)

リピート再生
「繰り返し再生する」
(68ページ)

スキャン再生
「スキャン再生する」(69ページ)

一時停止
「再生を一時停止する」(69ページ)



プログラムボタン
「PROGRAMボタンの機能を設定する」(70ページ)

- 3 ジョイスティックを操作して、機能を選ぶ
選んだ項目が緑色で表示されます。
- 4 ジョイスティックを押して、操作する
詳しくは、各機能の説明をご覧ください。

もとの画面に戻る

機能メニュー画面での操作を終了し、もとの画面に戻ります。

- 1 RETURNボタンを押す

機能メニューを操作する

繰り返し再生する

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「RPT」を選ぶ

「RPT」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、繰り返し再生する範囲が切り換わります。

Disc RPT → Track RPT

表示	繰り返しの範囲
Track RPT	再生中の曲を繰り返し再生します。
Disc RPT	再生中のMDを繰り返し再生します。



ソースプレート表示



選んだ再生範囲が表示されます。

ランダム再生する

曲を順不同 (ランダム) に再生します。

- 1 ジョイスティックを操作して、「Random」を選ぶ

「Random」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。

Onに切り換えると、ランダム再生を始めます。



ソースプレート表示



ランダム再生中に表示されます。

スキャン再生する

曲の始めの部分 (約10秒間) だけを次々に再生します。

- 1 ジョイスティックを操作して、「Scan」を選ぶ

「Scan」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。
Onに切り換えると、スキャン再生を始めます。

- 3 聞きたい曲が再生されたら、ジョイスティックを押す

スキャン再生が解除され、選んだ曲から再生します。



ソースプレート表示



スキャン再生中に表示されます。

- ・ スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

再生を一時停止する

- 1 ジョイスティックを操作して、「Pause」を選ぶ

「Pause」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。
Onに切り換えると、再生を一時停止します。
Offにすると、再生を始めます。



PROGRAMボタンの機能を設定する

繰り返し再生またはランダム再生などのうち、よく使うものをPROGRAMボタンに設定することで、機能メニュー画面を表示しなくても簡単に操作をすることができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「PGM」を選ぶ

「PGM」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、設定が切り換わります。

Pause ➡ RPT Mode ➡ Random

PROGRAMボタンでの操作

機能	押す	2秒以上押す
Pause	On/Off	
RPT Mode	再生範囲の切り換え	
Random	On/Off	



表示を切り換える

ディスク名を表示したり、ディスク名や曲名の表示位置を切り換えたりします。

- 1 DISPLAYボタンを押す
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

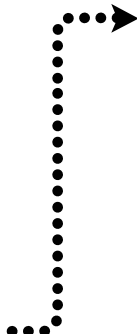
ソースプレート表示1



プレート表示OFF (例: センタールーム表示)



ソースプレート表示2



・ ディスク名や曲名が入力されていない場合は、それぞれ「NO TITLE」が表示されます。

タイトルをスクロール表示させる

ディスク名や曲名のタイトルが12文字を超えているときは、隠れている文字をスクロール表示で見ることができます。

- 1 DISPLAYボタンを2秒以上押す
ディスク名または曲名の表示がスクロールします。

スクロール表示します



音を調節する

「オーディオメニュー画面」を表示する

- 1 MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。
- 2 ジョイスティックを操作して、「Audio」を選ぶ
「Audio」が緑色で表示されます。
- 3 ジョイスティックを押す
オーディオメニュー画面に切り換わります。



リスニングポジション

「リスニングポジションを選ぶ」
(74ページ)

フェーダー/バランス

「前後左右の音量バランスを調節する」
(75ページ)

キャビンイコライザー

「車種に合わせてキャビンイコライザーを選ぶ」(73ページ)

スピーカーセッティング

「接続したスピーカーの設定をする」(76ページ)

イコライザー

「イコライザーカーブ(EQ)を選ぶ」(78ページ)

ダイナミックレンジ

コントロール
「ダイナミックレンジコントロールを使う」(81ページ)

ダイレクト

「オリジナルの音質を聞く」(82ページ)

SLA (ソース レベル アジャスター)

「ソース間の音量差をそろえる」(79ページ)

SFC (サウンド フィールド コントロール)

「SFCで音場を再現する」(80ページ)

- 4 ジョイスティックを操作して、機能を選ぶ
選んだ項目が緑色で表示されます。
- 5 ジョイスティックを押して、操作する
詳しくは、各機能の説明をご覧ください。

もとの画面に戻る

オーディオメニュー画面での操作を終了し、もとの画面に戻ります。

- 1 RETURNボタンを押す

適切な車室内音場の設定について

キャビンイコライザーは、車種に合わせた音場補正を簡単に行うことができます。より良い音場を得るために、必ずスピーカーの設定を行ってください。また、リスニングポジションやフェーダー/バランスの設定を行うと、キャビンイコライザーとの組み合わせで更なる音場効果を得ることができます。

車種に合わせてキャビンイコライザーを選ぶ

あらかじめ車種別に用意された設定を使って、最適な音響特性に補正することができます。WAGON、MINI VAN、SUV、SEDANの4車種が用意されています。

- 1 ジョイスティックを操作して、「Cabin EQ」を選ぶ

「Cabin EQ」が緑色で表示されます。

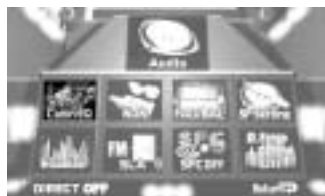
- 2 ジョイスティックを押す

オーディオ設定画面に切り換わり、「車種」が緑色で表示されます。

- 3 ジョイスティックを押す

押すごとに、車種が切り換わります。

WAGON → MINI VAN → SUV → SEDAN
→ CUSTOM → Off



車種

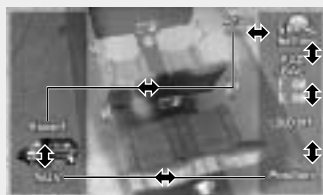
- ・キャビンイコライザーの設定は、車種ごとに細かく調節することができます。詳しくは、「きめ細かく音を調節する」(84ページ)をご覧ください。

オーディオ設定画面内の操作について

- ・設定項目を変えるときは、ジョイスティックを上下左右に操作します。ナナメに移動することはできません。

↔ : ジョイスティックを左右に操作します。

↑↓ : ジョイスティックを上下に操作します。



- ・オーディオ設定画面内で項目を選ぶと、オーディオメニュー画面に戻らずに、直接それぞれの設定を行うことができます。

Position : 「リスニングポジションを選ぶ」(74ページ)
LOUD : 「小音量で聞くときの音を補正する」(83ページ)
FAD/BAL : 「前後左右の音量バランスを調節する」(75ページ)
SP Setting : 「接続したスピーカーの設定をする」(76ページ)
Expert : 「キャビンイコライザーを調節する」(87ページ)
Return : オーディオ設定画面での操作を終了し、もとの画面に戻ります。

リスニングポジションを選ぶ

乗車位置や人数に合わせて、リスニングポジション（聞く位置）を選ぶことで、音像の定位を適切に補正することができます。

リスニングポジションについて

- ・リスニングポジションは、座席位置や人数に合わせて、自動的に各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルを調節する機能です。キャビンイコライザーと組み合わせることで、さらに自然な音像を得ることができます。さらにSFCを組み合わせると、全身を包むような豊かな音場を体感することができます。

1 ジョイスティックを操作して、「リスニングポジション」を選ぶ
「リスニングポジション」が緑色で表示されます。



2 ジョイスティックを押す
オーディオ設定画面に切り換わり、「Position」が緑色で表示されます。

3 ジョイスティックを押す
押すごとに、リスニングポジションが切り換わります。

フロント (右) ➡ フロント (左) ➡ フロント
➡ リア (右) ➡ リア (左) ➡ リア ➡ フロント
➡ リア ➡ オフ (指定無し)

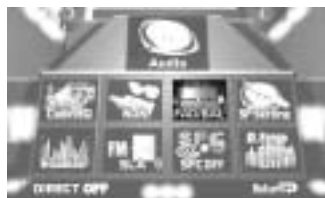


- ・タイムアライメント (90ページ) を調節するには、ポジションをフロント (右) /フロント (左) /リア (右) /リア (左) のいずれかに設定してください。

前後左右の音量バランスを調節する

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

- 1** ジョイスティックを操作して、「FAD/BAL」を選ぶ
「FAD/BAL」が緑色で表示されます。
- 2** ジョイスティックを押す
オーディオ設定画面に切り換わり、「FAD/BAL」が緑色で表示されます。
- 3** ジョイスティックを押す
フェーダー/バランス設定画面が表示されます。
- 4** ジョイスティックを操作して、画面上の青いボールを移動させる
前後左右の音量バランスが変化します。
前後は「F15」～「R15」の範囲で、左右は「L09」～「R09」の範囲で調節することができます。
- 5** ジョイスティックを押す
フェーダー/バランス設定を終了します。

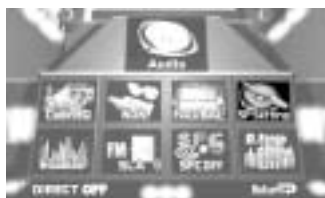


接続したスピーカーの設定をする

スピーカーの接続の有無や接続したスピーカーのサイズ（低音域再生能力）の設定をすることができます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させたり、より再生に適したスピーカーから低音を出力させることができます。

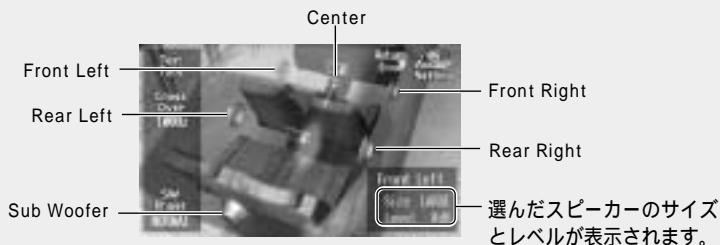
スピーカーサイズ設定は、100 Hz以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合はLARGEに、再生不可能な場合はSMALLに設定してください。

- 1 ジョイスティックを操作して、「SP Setting」を選ぶ
「SP Setting」が緑色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを押す
スピーカー設定画面に切り換わります。Front Leftスピーカーが緑色で表示され、画面右下にその設定が表示されます。

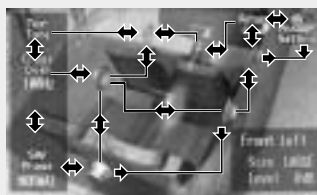
スピーカー設定画面内の操作について



- ・ 設定項目を変えるときは、ジョイスティックを上下左右に操作します。ナナメに移動することはできません。

←→ : ジョイスティックを左右に操作します。

↑↓ : ジョイスティックを上下に操作します。



- Test Tone : 「テストトーンでスピーカーの出力レベルを調節する」(85ページ)
- Cross Over : 「クロスオーバー周波数を設定する」(86ページ)
- SW Phase : 「サブウーファアの位相を切り換える」(86ページ)
- Audio Setting : オーディオ設定画面に切り換わります。
- Return : スピーカー設定画面での操作を終了し、もとの画面に戻ります。

3 ジョイスティックを操作して、設定したいスピーカーを選ぶ

選んでいるスピーカーが緑色で表示されます。



4 ジョイスティックを押す

画面右下の設定に 、 が表示され、選んだスピーカーのサイズとレベルを変更できるようになります。



サイズ レベル

5 ジョイスティックを左右に操作して、スピーカーの有無やサイズを設定する

各スピーカーの設定は、以下の中から選ぶことができます。

スピーカーの種類	設定
フロント共通	SMALL/LARGE
リア共通	OFF/SMALL/LARGE
センター	OFF/SMALL/LARGE
サブウーファー	OFF/ON

- ・ フロントスピーカーとリアスピーカーは、左右同じサイズに設定されます。

6 ジョイスティックを上下に操作して、スピーカーの出力レベルを調節する

リスニングポジションを設定すると、出力レベルは自動的に適切な設定になります。さらにお好みに合わせて調節するには、「テストトーンでスピーカーの出力レベルを調節する」や「スピーカーレベル」をご覧ください。

7 ジョイスティックを押す

選んだスピーカーの設定を終了します。

8 手順3～7を繰り返して、他のスピーカーも同様に設定する

- ・ 接続していないスピーカーの設定は、必ず「OFF」にしてください。
- ・ サブウーファーを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が著しく不足した感じになることがあります。
- ・ 2チャンネルのモノラルソースを再生しているときにドルビープロロジックをONにすると、次の様な現象が起こることがあります。
 - センタースピーカーが接続されていないのに、センタースピーカーの設定を「ON」にしている場合、音が出力されないことがあります。
 - センタースピーカーが接続されていて、センタースピーカーの設定を「ON」にしている場合、センタースピーカーからのみ音が出力されることがあります。

イコライザーカーブ (EQ) を選ぶ

あらかじめ用意されているイコライザーカーブを選んで、お好みの音質にすることができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「Equalizer」を選ぶ
「Equalizer」が緑色で表示されます。
- 2 ジョイスティックを押す
イコライザー設定画面に切り換わり、「Band」が緑色で表示されます。
- 3 ジョイスティックを上下に操作して、「EQ+」または「EQ-」を選ぶ
- 4 ジョイスティックを押す
押すごとに、イコライザーカーブが切り換わります。



EQ+ を選んだ場合：

Powerful → Natural → Vocal → Custom → Flat → Super Bass

EQ- を選んだ場合：

Powerful → Super Bass → Flat → Custom → Vocal → Natural

・「Custom」には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブをソースごとに記憶することができます。詳しくは「イコライザーカーブを調節する」(92ページ)をご覧ください。

ソース間の音量差をそろえる

ソースを切り換えたとき急に音が大きくなったり、小さくなったりしないように調節することができます。

- ・音量差の調節はFMの音量を基準にして行なわれます。最初にFMの音量を確認してください。

音量を調節するソースを選んでから操作してください。（「聞きたいソース（音源）を選ぶ」12ページ）

1 ジョイスティックを操作して、「SLA」を選ぶ

「SLA」が緑色で表示されます。

2 ジョイスティックを押す

SLA設定画面に切り換わります。



3 ジョイスティックを上下に操作して、音量を調節する

- 8 ~ + 8の範囲で調節できます。



4 他のソースも同様に調節する

SLAは、以下のようなソースグループごとに設定されます。

表示	ソース
TUN	AM放送、交通情報
CD	1枚型CD、マルチCD、マルチDVD
MD	1枚型MD、マルチMD
TV	テレビ、ビデオ
AUX	AUX、スピーカー入力
EXT	External 1、External 2

- ・ SLAとはSource Level Adjuster (ソース レベル アジャスター) の略です。
- ・ FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。

SFCで音場を再現する

SFCでは、実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。

SFCについて

- ・演奏会場は、会場ごとに独特の雰囲気があります。これは、会場の広さや形状、残響特性が異なるため、直接音・初期反射音・残響音の長さや質が変化するためです。SFCには、このようなことを考慮した音場空間プログラムが設定されています。

1 ジョイスティックを操作して、「SFC」を選ぶ

「SFC」が緑色で表示されます。

2 ジョイスティックを押す

SFC設定画面に切り換わり、「Musical」が緑色で表示されます。

3 ジョイスティックを操作して、SFCモードを選ぶ

選んだ項目が緑色で表示されます。



Drama

リアスピーカーの音と一体となって、1つの大きなスピーカーのように響くイメージで幅広いサラウンド感を再現します。また、直接音もしっかりと響き、ストーリー重視の映画を楽しむのに適しています。

再生中のモードが表示されます。

Musical

音楽ソフトやミュージカル系の映画の再生を楽しむのに適しています。

Jazz

ジャズクラブでの音場を再現します。ライブ録音の音声などを楽しむのに適しています。

ドルビープロロジック

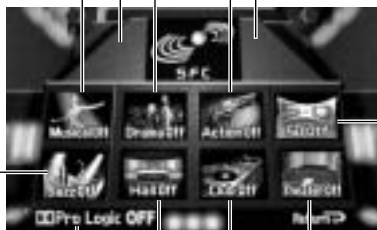
Hall

コンサートホールの音場を再現します。残響音豊かな響きでクラシック音楽などを楽しむのに適しています。

Action

躍動感、スピード感に加え、爆発シーンの迫力を包み込むように再現します。アクションシーンの多い映画を楽しむのに適しています。

再生中のサンプリング周波数が表示されます。



5D (5D Theater)

2チャンネルで収録された音声を、5チャンネルのサラウンド効果で楽しむのに適しています。

Theater

映画館の音場を再現します。各チャンネルの定位感を損なわずに映画館ならではの音響効果を楽しむのに適しています。

Club

ディスコの音場を再現します。残響音が吸収されやすい音場を再現し、ビートの効いた音楽を楽しむのに適しています。

4 ジョイスティックを押す

押すごとにOn/Offが切り換わります。Onにすると、選んだSFCの音場を楽しむことができます。

・ SFCとは、Sound Field Control (サウンド フィールド コントロール) の略です。

ドルビープロロジックのON/OFFについて

2チャンネルのリニアPCMまたは2チャンネルのドルビーデジタルの音声で、5.1チャンネルに適したSFC (Musical, Drama, Action, 5D) を選んだ場合、ドルビープロロジックをONにすることをおすすめします。また、2チャンネルに適したSFC (Jazz, Club, Hall, Theater) を選んだ場合、ドルビープロロジックをOFFにすることをおすすめします。

2チャンネルのモノラルソースを再生しているときにドルビープロロジックをONにすると、次の様な現象が起こることがあります。

センタースピーカーが接続されていないのに、センタースピーカーの設定を「ON」にしている場合、音が出力されないことがあります。

センタースピーカーが接続されていて、センタースピーカーの設定を「ON」にしている場合、センタースピーカーからのみ音が出力されることがあります。

ダイナミックレンジコントロールを使う

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅のことです。ダイナミックレンジコントロールはこの幅を圧縮することで、音量を下げた楽しむ場合に小さな音も聞きとりやすくすることができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「D.Range Control」を選ぶ
「D.Range Control」が緑色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを押す
押すごとに、On/Offが切り換わります。

・ ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。

オリジナルの音質を聞く

各種オーディオの設定を無効にすることができます。調整したオーディオ設定の効果を確かめるのに便利です。

- 1 ジョイスティックを操作して、「DIRECT」を選ぶ
「DIRECT」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す
押すごとに、ON/OFFが切り換わります。
ONにすると画面中央に「Direct On」が表示されます。



- ・ダイレクトがONの間は、VOLUMEとATTボタンのみ有効です。その他のオーディオ設定はできません。

小音量で聞くときの音を補正する

小さな音量で聞いているときの低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にします。

- 1 ジョイスティックを操作して、「リスニングポジション」を選ぶ
「リスニングポジション」が緑色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを押す
オーディオ設定画面に切り換わり、「Position」が緑色で表示されます。

- 3 ジョイスティックを上操作して、「LOUD」を選ぶ
「LOUD」が緑色で表示されます。



- 4 ジョイスティックを押す
押すごとに、設定が切り換わります。

LOW (弱) → MID (中) → HIGH (強) → Off

・ オーディオメニュー画面から、「LOUD」を直接呼び出すことはできません。

きめ細かく音を調節する

音の設定をする前に

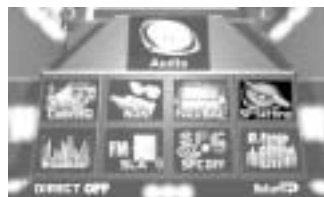
お好みに合わせて、きめ細かく音を調節する方法を説明しています。
 きめ細かく音を調節する前に、次の設定になっていることを確認してください。
 また、キャビンイコライザー（73ページ）やスピーカー設定（76ページ）は、お車やご使用のスピーカーシステムに合わせて正しく設定してください。

機能	設定	参照ページ
ダイレクト	OFF	82
イコライザー	Flat	78
SFC (サウンド フィールド コントロール)	Off	80
フェーダー/バランス	F00/R00	75
リスニングポジション	フロント (右) またはフロント (左)、リア (右)、リア (左) のいずれか	74

接続したスピーカーの調節をする

スピーカー設定画面を表示する

- 1 MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。
- 2 ジョイスティックを操作して、「Audio」を選ぶ
「Audio」が緑色で表示されます。
- 3 ジョイスティックを押す
オーディオメニュー画面に切り換わります。
- 4 ジョイスティックを操作して、「SP Setting」を選ぶ
「SP Setting」が緑色で表示されます。



- 5** ジョイスティックを押す
スピーカー設定画面に切り換わります。



テストトーンでスピーカーの出力レベルを調節する

テストトーンを聞きながら、各スピーカーからの出力レベルを調節し、スピーカーシステム全体のバランスを整えます。

- 1** ジョイスティックを操作して、「Test Tone」を選ぶ
「Test Tone」が緑色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを押す
テストトーンが出力されます。テストトーンは、約2秒ずつ以下の順に切り換わり続け、出力しているスピーカーの設定を画面右下に表示します。

Front Left → Center → Front Right → Rear Right → Rear Left
→ Sub Woofer

一通り出力レベルを確認して、調節するの必要がなければ、手順5を行ってテストトーンを終了してください。

・スピーカーのサイズをOFFに設定したスピーカーには、切り換わりません。

- 3** ジョイスティックを上下に操作して、出力中のスピーカーのレベルを調節する
- 10 dB ~ + 10 dBの範囲で調節することができます。
操作後約2秒経過すると、テストトーンが次のスピーカーに切り換わります。



- 4** 手順3を繰り返して、他のスピーカーの出力レベルも調節する

- 5** ジョイスティックを押す
テストトーンを終了します。

・実際に音声を聞きながら、レベルの調節を行うには、「接続したスピーカーの設定をする」(76ページ)を参照してレベルを調節してください。
・スピーカー設定画面で調節した出力レベルは、エキスパート設定画面のスピーカーレベルと同じ値になります。

クロスオーバー周波数を設定する

クロスオーバー周波数は、サブウーファーやスピーカーサイズを「SMALL」に設定したスピーカーの再生音域を設定します。

サブウーファーからは、選んだ周波数より低い音域が出力されます。

また、「SMALL」に設定したスピーカーからは、選んだ周波数より高い音域が出力され、カットされた低い音域はサブウーファーから出力されるようになります。サブウーファーを接続していない場合、カットされた低い音域は「LARGE」に設定したスピーカー（フロントまたはリア）から出力されるようになります。

- 1 ジョイスティックを操作して、「Cross Over」を選ぶ
「Cross Over」が緑色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを押す
押すごとに、クロスオーバー周波数が切り換わります。

100 Hz → 200 Hz → 63 Hz

- ・クロスオーバー周波数は、サブウーファーのLPFと、スピーカーサイズを「SMALL」に設定したスピーカーのHPF両方のカットオフ周波数を設定します。サブウーファーがOFFで、他のスピーカーのサイズが「LARGE」や「OFF」に設定されていた場合、クロスオーバー周波数の設定は無効になります。

サブウーファーの位相を切り換える

サブウーファーからの低音域の出力を調節しても低音域が良く聞こえてこなかったり、逆に小さくなったように感じた場合、他のスピーカーの低音域と打ち消し合っていることがあります。位相を切り換えることで、この現象を防ぎ低音域を聞きやすくすることができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「SW Phase」を選ぶ
「SW Phase」が緑色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを押す
押すごとに、NORMAL（正相）とREVERSE（逆相）が切り換わります。

キャビンイコライザーを調節する

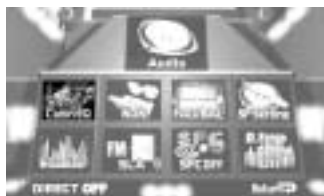
エキスパート設定画面では、各スピーカーごとに3バンドパラメトリックイコライザーやスピーカーレベル、タイムアライメントといった細かい調節を行うことができます。「Band」,「Frequency」,「EQ Level」,「Q Factor」は3バンドパラメトリックイコライザーを調節するための項目です。

キャビンイコライザーの調節について

- ・センタースピーカーは、音像を定位させるのに影響が大きいスピーカーです。このため、他のスピーカーと同時にバランスをとるのは、とても難しい作業です。全体のバランスをとるため、2チャンネルの音声 (CDなど) を再生し、センターを除く全てのスピーカーのバランスを調節します。その後、5.1チャンネルの音声 (ドルビーデジタルやDTS) を再生し、センタースピーカーを全体のバランスに合わせるように調節すると、スムーズに行うことができます。
- ・各スピーカーの設定を調節すると、現在選んでいる車種名を橙色で表示し、調節後のカーブを記憶したことを知らせます。調節したキャビンイコライザーは、記憶 (91ページ) させたり、調節内容をリセット (91ページ) することもできます。

エキスパート設定画面を表示する

- 1** MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。
- 2** ジョイスティックを操作して、「Audio」を選ぶ
「Audio」が緑色で表示されます。
- 3** ジョイスティックを押す
オーディオメニュー画面に切り換わります。
- 4** ジョイスティックを操作して、「Cabin EQ」を選ぶ
「Cabin EQ」が緑色で表示されます。
- 5** ジョイスティックを押す
オーディオ設定画面に切り換わり、「車種」が緑色で表示されます。
- 6** ジョイスティックを操作して、「Expert」を選ぶ
「Expert」が緑色で表示されます。



次ページの手順7へつづく

7 ジョイスティックを押す

エキスパート設定画面に切り換わります。
Front Leftスピーカーが緑色で表示され、画面左側にその設定が表示されます。

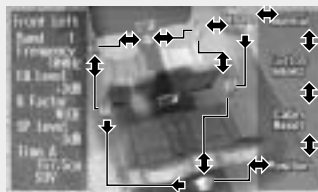


エキスパート設定画面内の操作について

- ・ 設定項目を変えるときはジョイスティックを上下左右に操作します。ナナメに移動することはできません。

◀▶ : ジョイスティックを左右に操作します。

↑↓ : ジョイスティックを上下に操作します。



Normal : オードイオ設定画面に切り換わります。

Custom MEMO : 「調節したキャビンイコライザーを記憶させる」(91ページ)

Cabin Reset : 「調節したキャビンイコライザーをリセットする」(91ページ)

Position : 「リスニングポジションを選ぶ」(74ページ)

Return : エキスパート設定画面での操作を終了し、もとの画面に戻ります。

3バンドパラメトリックイコライザーを調節する

フロント/リア/センターのイコライザーカーブを別々に設定することができます。バンド (Band) ごとに中心周波数 (Frequency) を設定し、レベル (EQ Level) 調節やカーブの傾き (Q Factor) の切り換えを行うことができます。キャビンイコライザーは、車室内の音響特性を補正し、お車に合った音場を得るためのイコライザーカーブです。

聞いているソースや曲に合わせて調節したい場合は、92ページの「イコライザーカーブを調節する」で説明しているイコライザーカーブで調節してください。

中心周波数について

- ・ 各バンドの中心周波数は、20種類の周波数の中から選ぶことができます。周波数は、1/3オクターブずつのステップで切り換えることができますが、各バンドの中心周波数の間隔を1オクターブ未満に設定することはできません。

- 1** ジョイスティックを操作して、調節したいスピーカーを選ぶ
選んでいるスピーカーが緑色で表示されます。



・ サブウーファーを選んだ場合、3バンド パラメトリック イコライザーの調節は行えません。スピーカーレベル (90ページ) とタイムアライメント (90ページ) のみ調節することができます。

- 2** ジョイスティックを押す
選んだスピーカーの設定を調節することができます。「Band」が緑色で表示されます。



- 3** ジョイスティックを左右に操作して、調節したいバンドを選ぶ

- 4** ジョイスティックを上下に操作して、「Frequency」、「EQ Level」、「Q Factor」の中から調節したい項目を選ぶ
選んでいる項目が緑色で表示されます。



- 5** ジョイスティックを左右に操作して、選んだ項目を調節する
各項目の調節範囲は、以下のようになります。

項目	調節範囲
Frequency	100 Hz ~ 8 kHz
EQ Level	- 12 dB ~ +12 dB
Q Factor	WIDE/NARROW

・ フロントとリアのイコライザーカーブは、それぞれ左右が同じ設定になります。左右どちらかで設定を行えば、もう一方を行う必要はありません。

- 6** ジョイスティックを上操作して、「Band」を選ぶ
- 7** 手順3 ~ 6を繰り返して、他のバンドも同様に調節する
- 8** ジョイスティックを押して、設定を終了する
- 9** 手順1 ~ 8を繰り返して、他のスピーカーも同様に調節する

スピーカーレベルを調節する

テストトーンで行った各スピーカーからの出力レベルを、実際の音声を聞きながらもう一度調節することができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、調節したいスピーカーを選ぶ

選んでいるスピーカーが緑色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを押す

選んだスピーカーの設定を調節することができます。「Band」が緑色で表示されます。

- 3 ジョイスティックを上下に操作して、「SP Level」を選ぶ

「SP Level」が緑色で表示されます。



- 4 ジョイスティックを左右に操作して、スピーカーの出力レベルを調節する

- 10 dB ~ +10 dBの範囲で調節することができます。

- 5 ジョイスティックを押して、設定を終了する

- ・エキスパート設定画面で調節した出力レベルは、スピーカー設定画面のスピーカー出力レベルと同じ値になります。

タイムアライメントを調節する

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節することができます。キャビンイコライザー (73ページ) やリスニングポジション (74ページ) を設定することで、自動的に設定されますが、タイムアライメントではさらに厳密に調節することができます。

タイムアライメントを調節するには

- ・タイムアライメントは、リスニングポジション (74ページ) が正しく設定されていないと調節することができません。

- 1 ジョイスティックを操作して、調節したいスピーカーを選ぶ

選んでいるスピーカーが緑色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを押す

選んだスピーカーの設定を調節することができます。「Band」が緑色で表示されます。

- 3 ジョイスティックを上下に操作して、「Time A」を選ぶ
「Time A」が緑色で表示されます。



- 4 ジョイスティックを左右に操作して、距離を調節する
0 cm ~ 500 cmの範囲で調節することができます。

- 5 ジョイスティックを押して、設定を終了する

・「Time A」のAとは、Alignment (アライメント) の頭文字です。

調節したキャビンイコライザーを記憶させる

調節したキャビンイコライザーを、カスタムキャビンイコライザーとして記憶させることができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「Custom MEMO」を選ぶ
「Custom MEMO」が緑色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを押す
設定が記憶され、画面左下の車種名が「CUSTOM」に切り換わります。

・ Custom MEMOへの記憶は、キャビンイコライザーの設定作業中、何度でも行うことができますが、記憶内容は最新の設定のみになります。

調節したキャビンイコライザーをリセットする

調節したキャビンイコライザーを初期設定に戻すことができます。

リセットするキャビンイコライザー (車種) を選んでから操作してください。(「車種に合わせてキャビンイコライザーを選ぶ」73ページ)

- 1 ジョイスティックを操作して、「Cabin Reset」を選ぶ
「Cabin Reset」が緑色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを押す
調節内容が消去され、画面下の車種名の表示が橙色から白色に戻ります。

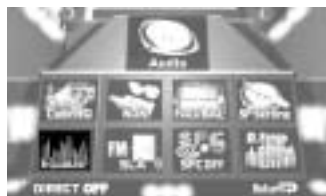
イコライザーカーブを調節する

このイコライザーカーブは、車に合った最適な音響特性になるよう調節したキャビンイコライザーをベースにして、さらにソースごとにお好みの音質に調節することができます。イコライザーカーブを調節するソースを選んでから操作してください。（「聞きたいソース（音源）を選ぶ」12ページ）

- 1 MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。
- 2 ジョイスティックを操作して、「Audio」を選ぶ
「Audio」が緑色で表示されます。



- 3 ジョイスティックを押す
オーディオメニュー画面に切り換わります。
- 4 ジョイスティックを操作して、「Equalizer」を選ぶ
「Equalizer」が緑色で表示されます。



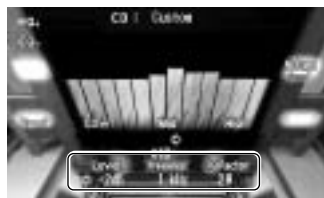
- 5 ジョイスティックを押す
イコライザー設定画面に切り換わり、「Band」が緑色で表示されます。



- 6 ジョイスティックを押して、バンドを選ぶ
押すごとに、バンドが切り換わります。
Low (低域) → Mid (中域) → High (高域)



- 7** ジョイスティックを左右に操作して、「Level」、「Frequency」、「Q Factor」の中から調節したい項目を選ぶ
選んでいる項目が緑色で表示されます。



- 8** ジョイスティックを上下に操作して、選んだ項目を調節する

各項目の調節範囲は、以下のようになります。また、「Frequency」は選んだバンドによって調節範囲が異なります。

項目	調節範囲
Level	- 12dB ~ +12dB
Frequency	Low : 40/80/100/160 Hz
	Mid : 200/500/1k/2k Hz
	High : 3.15k/8k/10k/12.5k Hz
Q Factor	2W/1W/1N/2N

- 9** ジョイスティックを操作して、「Band」を選ぶ



- 10** 手順6～9を繰り返して、他のバンドも同様に調節する

- ・イコライザーカーブを調節すると「Custom」に記憶されます。
- ・「Custom」以外のイコライザーカーブを選ぶには、「イコライザーカーブ (EQ) を選ぶ」(78ページ)をご覧ください。
- ・「Custom」は、SLA (79ページ) 同様のソースグループごとに調節することができます。しかし、イコライザーカーブは、SLAのようにFMを基準にはしていないので、FM放送はAM放送と同じに調節されます。(ただし、交通情報は、交通情報用のイコライザーになり、調節することはできません。)

初期設定を変える

初期設定画面を表示する

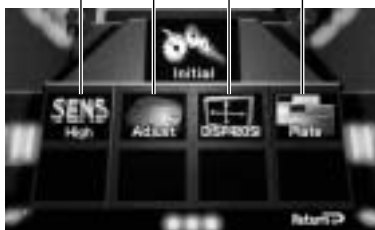
- 1 SOURCEボタンを1秒以上押して、電源を切る
- 2 MENUボタンを2秒以上押す
初期設定メニューが表示されます。

時計調節
「時計を合わせる」(95ページ)

感度切り換え
「音の歪みを補正する」
(95ページ)

ディスプレイポジション
「画面表示位置を調整する」(96ページ)

プレートパターン
切り換え
「情報プレートのパターン
を切り換える」(96ページ)



- 3 ジョイスティックを操作して、項目を選ぶ
選んだ項目が緑色で表示されます。
- 4 ジョイスティックを押して、操作する
詳しくは、各機能の説明をご覧ください。

初期設定画面を終了する

初期設定画面での操作を終了し、電源を切ります。

- 1 RETURNボタンを押す

音の歪みを補正する

イコライザーカーブの調整による音の歪みを抑制することができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「SENS」を選ぶ

「SENS」が緑色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを押す

押すごとに、High/Lowが切り換わります。

・イコライザーカーブの設定でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときは、「Low」に切り換えてください。(通常は音質が優れている「High」のままお使いください。)

時計を合わせる

ディスプレイに表示する時計を合わせることができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「Adjust」を選ぶ

「Adjust」が緑色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを押す

時計調節画面が表示されます。

- 3 ジョイスティックを上下に操作して、時を調節する



- 4 ジョイスティックを左右に操作して、分を調節する

分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

- 5 ジョイスティックを押す

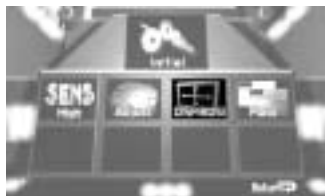
時計調節画面が消えます。

・時計の表示は、「センタールームの映像を切り換える/時計を表示する」(99ページ)をご覧ください。

画面表示位置を調整する

ディスプレイの表示位置を調整することができます。

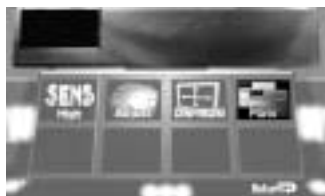
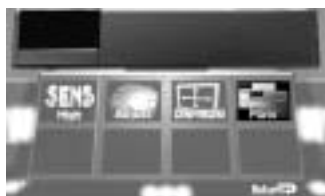
- 1 ジョイスティックを操作して、「DISP POSI」を選ぶ
「DISP POSI」が緑色で表示されます。
- 2 ジョイスティックを押す
表示位置調整画面が表示されます。
- 3 ジョイスティックを操作して、表示位置を調整する
- 4 ジョイスティックを押す
表示位置が決定し、表示位置調整画面が消えます。



情報プレートのパターンを切り換える

ソースプレートや情報プレートのパターンをお好みに合わせて、3種類の中から選ぶことができます。

- 1 ジョイスティックを操作して、「Plate」を選ぶ
「Plate」が緑色で表示されます。
- 2 ジョイスティックを押す
押すごとに、情報プレートのパターンが切り換わります。



その他の機能

瞬時に音量を小さくする

車内の会話が聞き取りにくいときなど、瞬時に音量を小さくすることができます。

1 ATTボタンを押す

「ATT」が表示され、音量が小さくなります。もう一度ボタンを押すと、アッテネーターは解除されます。



交通情報を受信する

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 TIボタンを押す

交通情報を受信します。

2 ◀または▶ボタンを押して、周波数を切り換える

▶ボタンを押すと、1,629 kHzに切り換わります。

◀ボタンを押すと、1,620 kHzに切り換わります。



3 受信をやめるときは、もう一度TIボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

- この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。
- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。
- 交通情報の受信中は、交通情報用のイコライザーカーブに切り換わります。

センタールームの映像を切り換える/時計を表示する

センタールームの映像は、切り換えることができます。
ソースプレートの簡易表示や時計表示、イルカなど9種類の映像の中から選ぶことができます。

- 1 ジョイスティックを押す
押すごとに、中央の映像が切り換わります。
アニメーション → ソースプレートの簡易表示
→ 時計表示



- 2 アニメーションを選んだ場合、ジョイスティックを下に操作して、アニメーションの種類を選ぶ
ジョイスティックを下に操作するごとに、アニメーションが切り換わります。

・ ソースプレートの簡易表示は、ソースプレートが表示されていると何も表示しません。

スペクトラムアナライザーの色を変える

スペクトラムアナライザールームの表示色を6種類の中から選ぶことができます。

- 1 ジョイスティックを上にも操作する
スペクトラムアナライザールームに切り換わります。
- 2 ジョイスティックを押す
押すごとに、スペクトラムアナライザーの色が切り換わります。



外部機器の音声を聞く / 映像を見る

セットアップメニュー画面を表示する

- 1 MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。
- 2 ジョイスティックを操作して、「Set Up」を選ぶ
「Set UP」が緑色で表示されます。
- 3 ジョイスティックを押す
セットアップメニュー画面に切り換わります。



ビデオ入力
「ビデオ入力の映像を見る」
(101ページ)

外部機器
「外部機器の音声を聞く」
(101ページ)

スピーカー入力
「スピーカー入力の音声を聞く」
(102ページ)



外部機器の音声を聞く

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

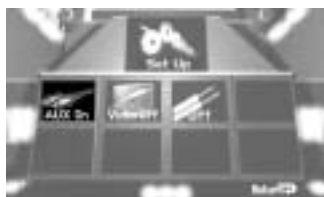
- ・別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。
- ・詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

1 ジョイスティックを操作して、「AUX」を選ぶ

「AUX」が緑色で表示されます。

2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。
Onにすると、外部機器がソースの1つに設定されます。



3 RETURNボタンを押す

もとの画面に戻ります。

4 SOURCEボタンを押して、「AUX」を選ぶ

外部機器の音声を聞くことができます。

- ・接続した外部機器の名称をあらかじめ入力しておくと、その名前がソースプレートに表示されます。詳しくは、「外部機器 (AUX) に名前をつける」(103ページ)をご覧ください。

ビデオ入力の映像を見る

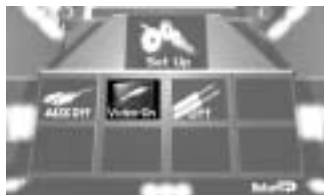
本機のビデオ入力に外部ビデオ機器を接続すると、その映像を見るすることができます。

1 ジョイスティックを操作して、「Video」を選ぶ

「Video」が緑色で表示されます。

2 ジョイスティックを押す

押すごとに、On/Offが切り換わります。
Onに切り換えると、ビデオ入力ソースの一つに設定されます。



3 RETURNボタンを押す

もとの画面に戻ります。

4 SOURCEボタンを押して、「Video」を選ぶ

ビデオ入力に接続された機器を見ることができます。

スピーカー入力の音声を聞く

本機のスピーカー入力端子に外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

- ・ 付属のRCA入力コードを使うと、RCA出力のあるカーステレオを、外部機器として本機に接続することができます。(詳しい接続方法は、取付説明書をご覧ください。)

- 1 ジョイスティックを操作して、「Off」を選ぶ

「Off」が緑色で表示されます。

- 2 ジョイスティックを押す

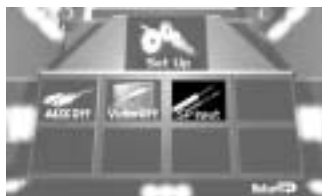
押すごとに、SP Input/Offが切り換わります。SP Inputに切り換えると、スピーカー入力ソースの1つに設定されます。

- 3 RETURNボタンを押す

もとの画面に戻ります。

- 4 SOURCEボタンを押して、「SP Input」を選ぶ

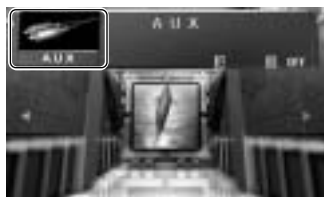
スピーカー入力端子に接続した機器の音声を聞くことができます。



外部機器 (AUX) に名前をつける

接続した外部機器に名称を入力することができます。

- 1 SOURCEボタンを押して、「AUX」を選ぶ



- 2 MENUボタンを押す
メインメニューが表示されます。



- 3 ジョイスティックを押す
機能メニュー画面に切り換わり、「Name Edit」が緑色で表示されます。



- 4 ジョイスティックを押す
入力画面が表示され、文字が入力できる状態になります。

- 5 外部機器の名称を入力し、記憶させる
マルチCDの「タイトルを入力する」(50ページ)の手順5～9に従って、操作します。

付録

ミュート機能について

オーディオミュートについて

ミュート機能のある製品（パイオニア製の携帯電話など）と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は「0」です。

ミュート機能が解除されると、自動的に元の音量に戻ります。

ナビゲーションミュートについて

パイオニア製のミュート機能のあるナビゲーションシステム（「AVIC-D9000」など）と本機を組み合わせた場合、ナビゲーションからガイダンス音声が出力されるときやナビゲーションを音声で操作するときに本機のフロントスピーカーにのみオーディオミュートがかかり音量が小さくなります。（ガイダンス音声は、本機のソースの音声と一緒にフロントスピーカーから出力されます。）

ミュート機能が解除されると、自動的に元の音量に戻ります。

- ・ソースがマルチDVDのとき、音が出ていない状態（ディスクのメニュー表示や初期設定画面の表示中など）では、ナビゲーションのガイダンス音声が出力されなくなります。

本機のリセットについて

本機を初期状態に戻すことができます。

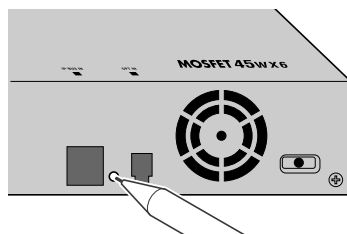
リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

- ・接続が終わったとき。
- ・本機が正しく動作しないとき。
- ・モニターが正しく表示されないとき。

リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度セットしなおしてください。

- 1 ペン先などでリセットボタンを押す
本機のマイコンが初期状態に戻ります。



故障かな?と思ったら

故障かな?と
思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェッ
クしてください。

チェックしても
直らないときは
本機をリセットしてく
ださい。(P.104ページ)

それでも
直らないときは
保証書とアフターサー
ビス (P.108ページ) を
お読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (P.取付説明書)
	ヒューズが切れている	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズと同じ容量のヒューズと交換し てください。(P.取付説明書)
リモコンが効かない	電池が弱っている。	新しい電池に交換してください。 (P.11ページ)
音が出ない。 音が小さい。	接続が間違っている。	正しく接続してください。 (P.取付説明書)
	音量を下げている。	音量を上げてください。 (P.13ページ)
	アッテネーターがONに なっている。	アッテネーターを解除してください。 (P.98ページ)
	前後左右の音量バランスの 調節が適切でない。	正しく調節してください。 (P.75ページ)
音が出ないスピー カーがある。	スピーカーのサイズ設定が OFFになっている。	接続しているスピーカーのサイズを正し く設定してください。(P.76ページ)
	スピーカーのレベル設定が 極端に小さくなっている。	他のスピーカーのレベルとバランスを とってください。(P.85、90ページ)
	センタースピーカーを接続 していない状態で、セン タースピーカーのサイズ設 定をSMALLやLARGEに している。	センタースピーカーのサイズ設定をOFF にしてください。(P.76ページ)

共通項目 (つづき)

症 状	原 因	処 置
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 (☞ 取付説明書)
	パーキングブレーキをかけていない。	

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、「ジージー、ザーザー」という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ 22ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ 22ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ 22ページ)

オーディオ/DSP

症 状	原 因	処 置
スピーカーの調節ができない。	スピーカーのサイズ設定がOFFになっている。	接続しているスピーカーのサイズを正しく設定してください。(☞ 76ページ)
タイムアライメントを調整できない。	リスニングポジションの設定が間違っている。	リスニングポジションを正しく設定してください。(☞ 74ページ)
	スピーカーのサイズ設定がOFFになっている。	接続しているスピーカーのサイズを正しく設定してください。(☞ 76ページ)
サブウーファアの位相が切り換えられない。	サブウーファアの設定がOFFになっている。	サブウーファアの設定をONにしてください。(☞ 76ページ)
低音域が聞こえない。	サブウーファア設定がOFFで、それ以外のスピーカーのサイズ設定もOFFやSMALLになっている。	正しく設定してください。(サブウーファアを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーのサイズ設定はLARGEにしてください。)(☞ 76ページ)

オーディオ/DSP (つづき)

症 状	原 因	処 置
ドルビープロロジックをONにすると、音が出ないときがある。	センタースピーカーを接続していない状態で、センタースピーカーのサイズ設定をSMALLやLARGEにしている。	センタースピーカーのサイズ設定をOFFにしてください。(モノラル音声の場合、ドルビープロロジックをONにすると、センタースピーカーからのみ音を出力するようになります。)(☞ 76ページ)
センタースピーカー以外のスピーカーから音が出ないときがある。	ドルビープロロジックがONになっている。	ドルビープロロジックをOFFにしてください。(モノラル音声の場合、ドルビープロロジックをONにすると、センタースピーカーからのみ音を出力するようになります。)(☞ 81ページ)
Dynamic Range Controlを「ON」にしても、効果がない。	再生しているソースがドルビーデジタル音声でない。	ドルビーデジタル音声だけに有効な機能です(☞ 81ページ)

DVDプレーヤー接続時

症 状	原 因	処 置
DVDプレーヤーのリモコンが効かない。	リモコンの操作モードが間違っている。	リモコンの操作モードを正しく切り換えてください。(☞ DVDプレーヤーの説明書)
DVDプレーヤーの音だけ出ない。	光デジタルケーブルが外れている。	光デジタルケーブルを正しく接続してください。
	DVDプレーヤーの出力の設定が間違っている。	正しく設定してください。(☞ DVDプレーヤーの説明書)

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

用語の解説

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。



ドルビーデジタルを楽しむには、本機の光デジタル入力端子とドルビーデジタル対応のDVDプレーヤなどの光デジタル出力端子を接続する必要があります。

ドルビープロロジック

ドルビーサラウンドプロロジックのマークのある2チャンネルのソフトをドルビープロロジック対応のAVアンプで再生すると、4チャンネルの信号に変換されます。



ドルビープロロジックでは、音の定位が鮮明になり、音の移動が自然に再生されるので、より立体的な音場を楽しむことができます。

ダイナミックレンジコントロール

ドルビーデジタルには音の強弱の幅を圧縮する機能があります。この機能がダイナミックレンジコントロールです。ダイナミックレンジの広い音声を小さな音量で聞く場合でも、良好な聴感が得られるようにコントロールします。

光デジタル入力

音声信号をデジタル信号で受け取ることで、音質の劣化を最小限に抑えることができます。また、デジタル信号を光で受け取るようにしたものが光デジタル入力です。(DVDプレーヤなど出力側には、光デジタル出力が必要です。)

DTS

Digital Theater Systemsの略です。DTSは、ドルビーデジタルとは異なるサラウンドシステムで、最大6チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。



DTSディスクを楽しむには、本機の光デジタル入力端子とDTS対応DVDプレーヤなどの光デジタル出力端子を接続する必要があります。

リニアPCM (LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式で、Linear Pulse Code Modulationの略です。

音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されているのに対し、DVDでは、48 kHz/16 bit ~ 96 kHz/24 bitで記録されているため、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

映像部

外部映像

入力レベル : 1 V/75 (±0.2. V)
映像出力レベル : 1 V/75 (±0.2. V)

共通部

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : バックアップ電流 : 10 A
 : アクセサリー電流 : 4 A
外形寸法
(取付寸法) : 307 (W) × 51 (H) × 187 (D) mm
質量 : 2.5 kg (コードユニット含まず)

付属品

コードユニット : 1
取付ネジ類 : 1式
リモート
コントローラー : 1
リチウム電池
(CR2025) : 1
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

索引

《五十音順》

あ行

- アッテネーター (ATT).....98
 イコライザーカーブ (EQ)....78、92
 位相 (サブウーファー).....86

か行

- キャビンイコライザー73、87
 繰り返し再生
34、37、44、56、62、68
 クロスオーバー周波数.....86
 交通情報 (TI).....98
 コンプレッション (COMP)....46、58

さ行

- 主音声30
 情報プレート16、96
 初期設定94
 スキャン再生
38、45、57、63、69
 スペクトラムアナライザー99
 センタールーム14

た行

- ダイナミックレンジコントロール
81、109
 タイムアライメント90
 テストトーン85
 トリック再生63
 ドルビーデジタル5、109
 ドルビープロロジック81、109

は行

- バーチャルワールド14
 光デジタル入力109
 副音声30

ま行

- ミュート104

ら行

- ランダム再生
37、44、56、62、68
 リスニングポジション74
 リセット104
 リニアPCM109

《アルファベット順》

- BSM (Best Stations Memory)....24
 BSSM (Best Stations Sequential
 Memory)30
 CD TEXT49
 DBE (Dynamic Bass Emphasis)
46、58
 DOLBY DIGITAL5、109
 DTS5、109
 ITS (Instant Track Selection)...52
 ITS再生38、45
 Q Factor88、93
 SFC (Sound Field Control).....80
 SLA (Source Level Adjuster) ...79

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 **0070-800-8181-11**

カタログのご請求窓口

 **0070-800-8181-33**

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2000

< 00D00F0T01 > < CRA2984-B >